

73
6651
1



能きすけあふつととく岩隈老人
 鍋田之善そは赤の惣りしとほてはく
 後木舟物其致よらるてと井氏也
 そ外りのしお藤書又古伝候代藤士小谷
 平内より父より傳へし本とては様よ授
 正なりといふいとめてたまた本はくそ者
 享保十一年二月日幕府内史格
 源隆丈とふ身時年八十三

包結記

目録

包之部

- | | |
|-----------|------------|
| 進物包事 | 包物水引少結事 |
| 包物上書的事 | 包物紙の介(少出事) |
| 金欄段子類卷物包事 | 紗綾縮緬類卷物包事 |
| 板之物包事 | 唐包賞瓶之事 |
| 鞆包事 | 真羽簪包事 |
| 短物包事 | 鞆包事 |
| 矢包事 | 弓包事 |

帯包事

熨蛇包事

草花包事

瓶子口包事

桃子之柄包事

玄緒餅包事

結之部

ふまの結の事

もろこな結の事

うねび結の事

渡金包事

木花包事

扇包事

椀形包事

瓶子右口包事

同上包事

片貝の事

やんがう結の事

男結の事

をなす結の事

手箱封結の事

貝桶の結結の事

新器の結結の事

かた結の事

あげお結の事

相生結の事

けまん結の事

長刀鞘の緒結の事

刀下結の事

鞭結の事

文箱袖物結の緒結の事

おむ貝桶の緒結の事

袖物掛結の緒結の事

五糸結の事 一名けし結

蛇結の事 一名おふ結

おけ帯結の事

刀袋の緒結の事

傘袋の緒結の事

脇差下結の事

右刀帯取結の事

右がしつけ結の事

風折点ほ急結結の事

素襖紐結の事

裏打垂垂紐結の事

単垂垂紐結の事

長縮紐結の事

水干紐結の事

垂垂の時袴の紐結の事

袂おの紐結の事

袋の長袂結の事

同長袂下結の事

備前帯の長緒結の事

袴結の事

輪結の事

襟結の事

封結の事

梅結の事

桜結の事

桔校結の事

かまぼこ結の事

菜結の事

追加

生のせんかう結の事

字のとむぼう結の事

片むらびの事 思結

まろむらびの事

鳥のとむ結の事

兎のら結の事

玄の宝珠結の事

羊の宝珠結の事

四片手結の事

あけ結の事

麻苧結の事

菜苧結の事

七袂結の事

長袂結の事

長緒翁結の事

貝桶とんかう結の事

長刀の緒結振の事

琴袋結の事

少むかうの事

阿づま結の事

帯にち振乃事

ちむむびの事

煮ぼいの緒結の事

胡蝶結の事

小なむびの事

六葉結の事

とむほう結の事

もはらう結の事

包記

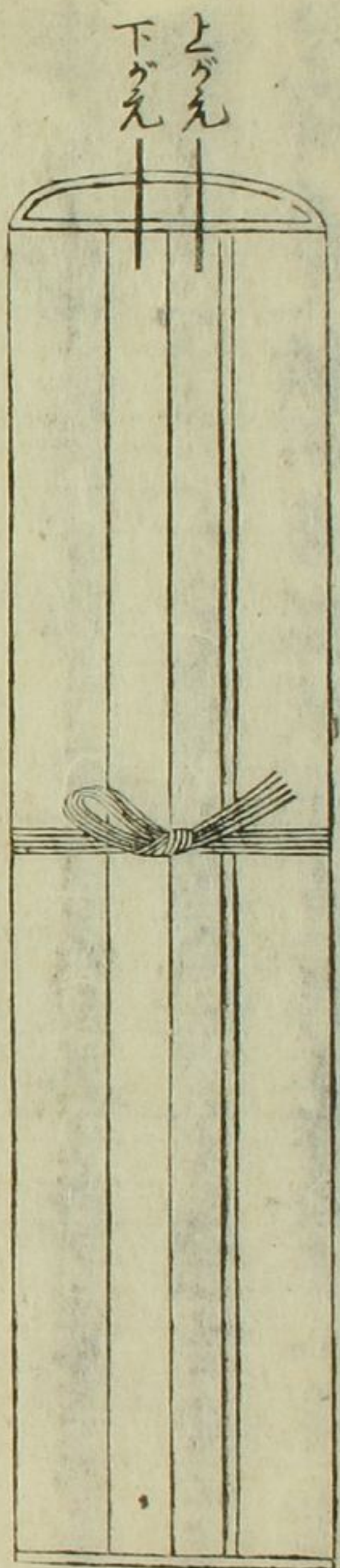
一 おろし進物を紙ふて包む事 高位の人をだんしを
 用ひらるべし 大なる物と包むる大なるのじん様小なる物ハ
 小なるじんしを用し次ハ引合と用ひらるべし 大なる物ハ大
 引合小は物ハ引合と用し次ハ松系を用ふべし 何れハ
 紙一重ぬり包むべし 物ハよあや紙一重ぬりをした
 ぶきくなくして包むべし

一 包むる物と水引ふて結ぶ事 白紅の水引を用ふべし
 高位の人を金銀の水引とも用らるべし 結び振丸ま物と
 おろしおろし結ぶべし 玉たまをばたきなり 結の方を右よりな

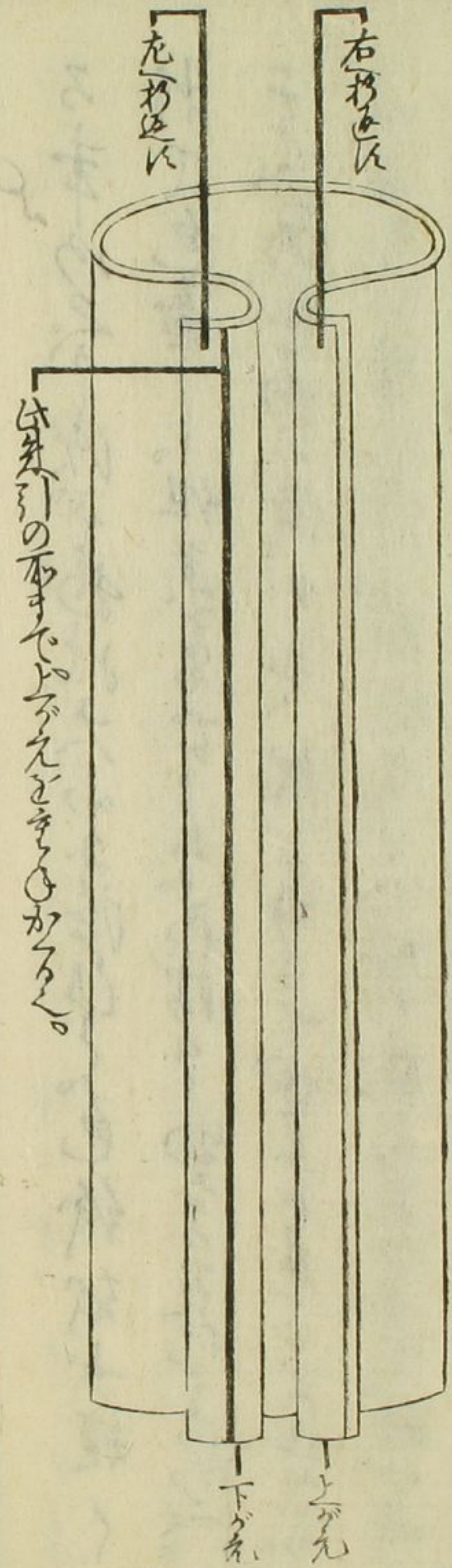
もろむ昔ち
もろむ昔ち
もろむ昔ち
もろむ昔ち
もろむ昔ち
もろむ昔ち
もろむ昔ち
もろむ昔ち
もろむ昔ち
もろむ昔ち

一物と包むる物との紙の形一少尺ゆるやうふありを
出して包む物也何れもみえぬ折紙の内へ包むる
為は目録なり
一物と包むる物との紙の形一少尺ゆるやうふありを
出して包む物也何れもみえぬ折紙の内へ包むる
為は目録なり
一物と包むる物との紙の形一少尺ゆるやうふありを
出して包む物也何れもみえぬ折紙の内へ包むる
為は目録なり

一物と包むる物との紙の形一少尺ゆるやうふありを
出して包む物也何れもみえぬ折紙の内へ包むる
為は目録なり
一物と包むる物との紙の形一少尺ゆるやうふありを
出して包む物也何れもみえぬ折紙の内へ包むる
為は目録なり
一物と包むる物との紙の形一少尺ゆるやうふありを
出して包む物也何れもみえぬ折紙の内へ包むる
為は目録なり

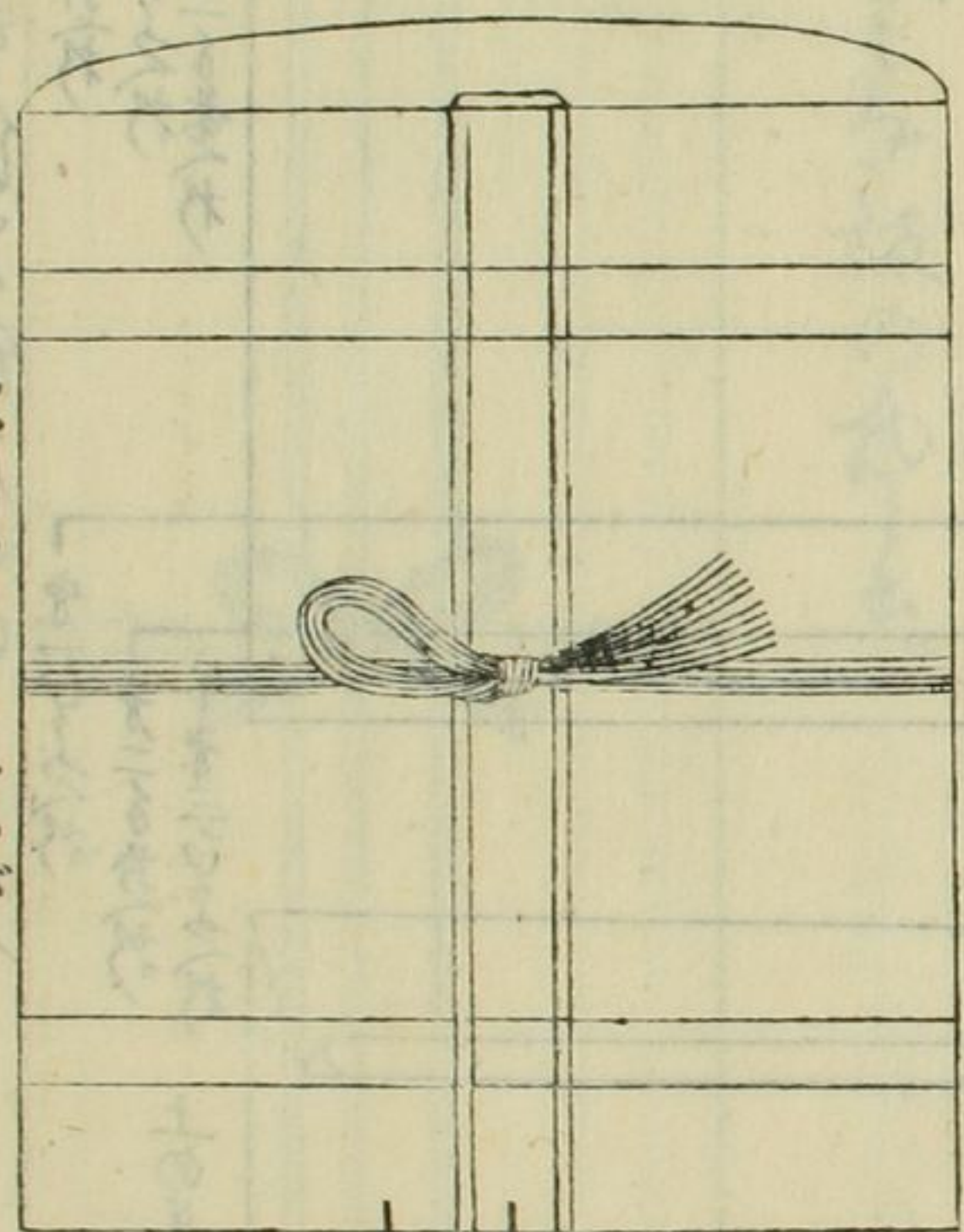


此の巻紙の裏に
右の色紙真中折に折る。上ヶ元ハ甘く折下ヶ元ハむろく折と
すひろき上ヶ元と下ヶ元と重ぬきお方同ハ甘く折とむろく折の色紙
いろける折だのぼ。

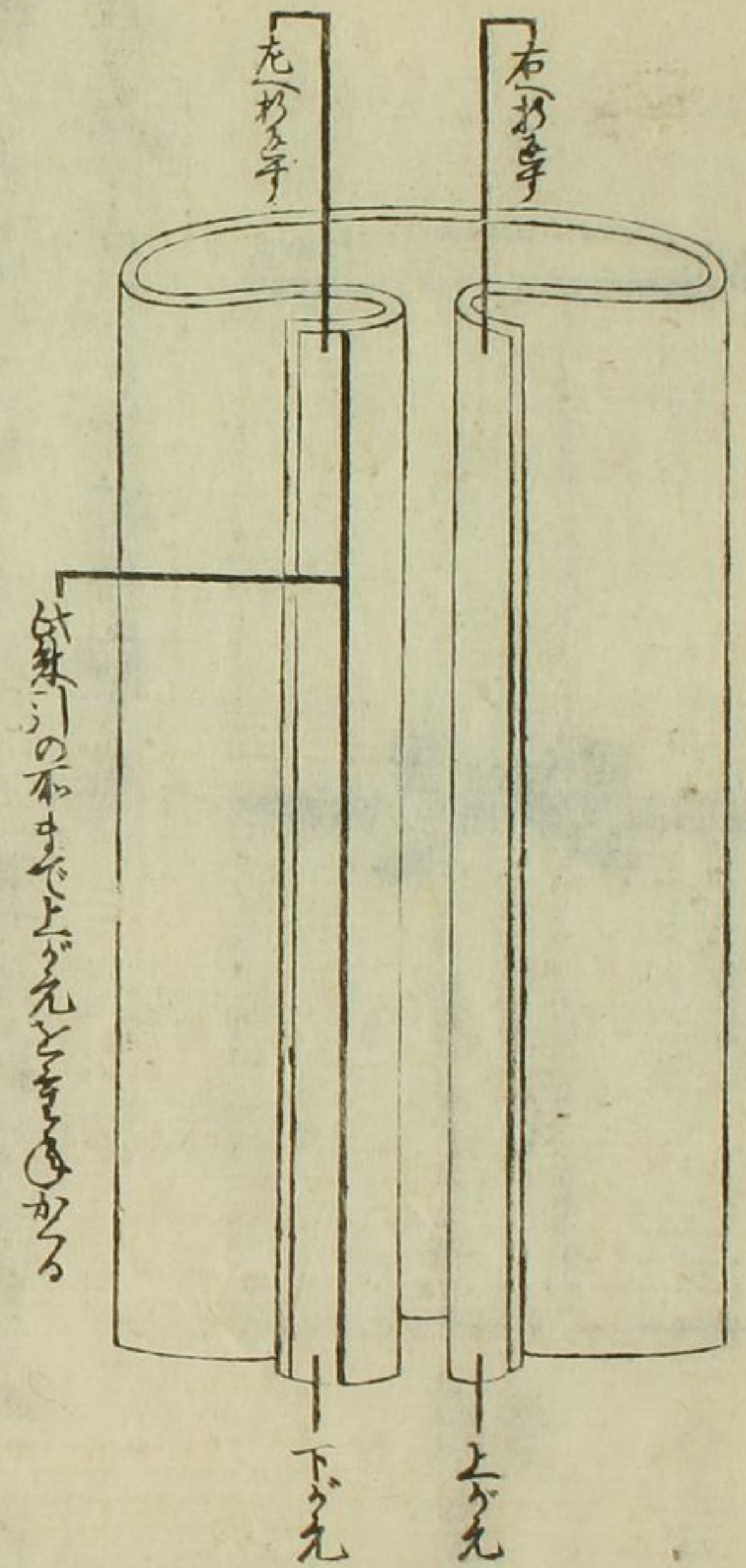


は表の裏と上ヶ元と下ヶ元とさうかろ。

一紗綾ちりめん紙は中ふ細と入る巻るを物とほむふ紙の
上下折紙に折る。す。それ紙端の色紙細く折。又それ紙
細く折て色で。上ヶ元下ヶ元とまきひて。上ヶ元と下ヶ元と折之。
又それ紙を折之。其細さ。紙を折る。



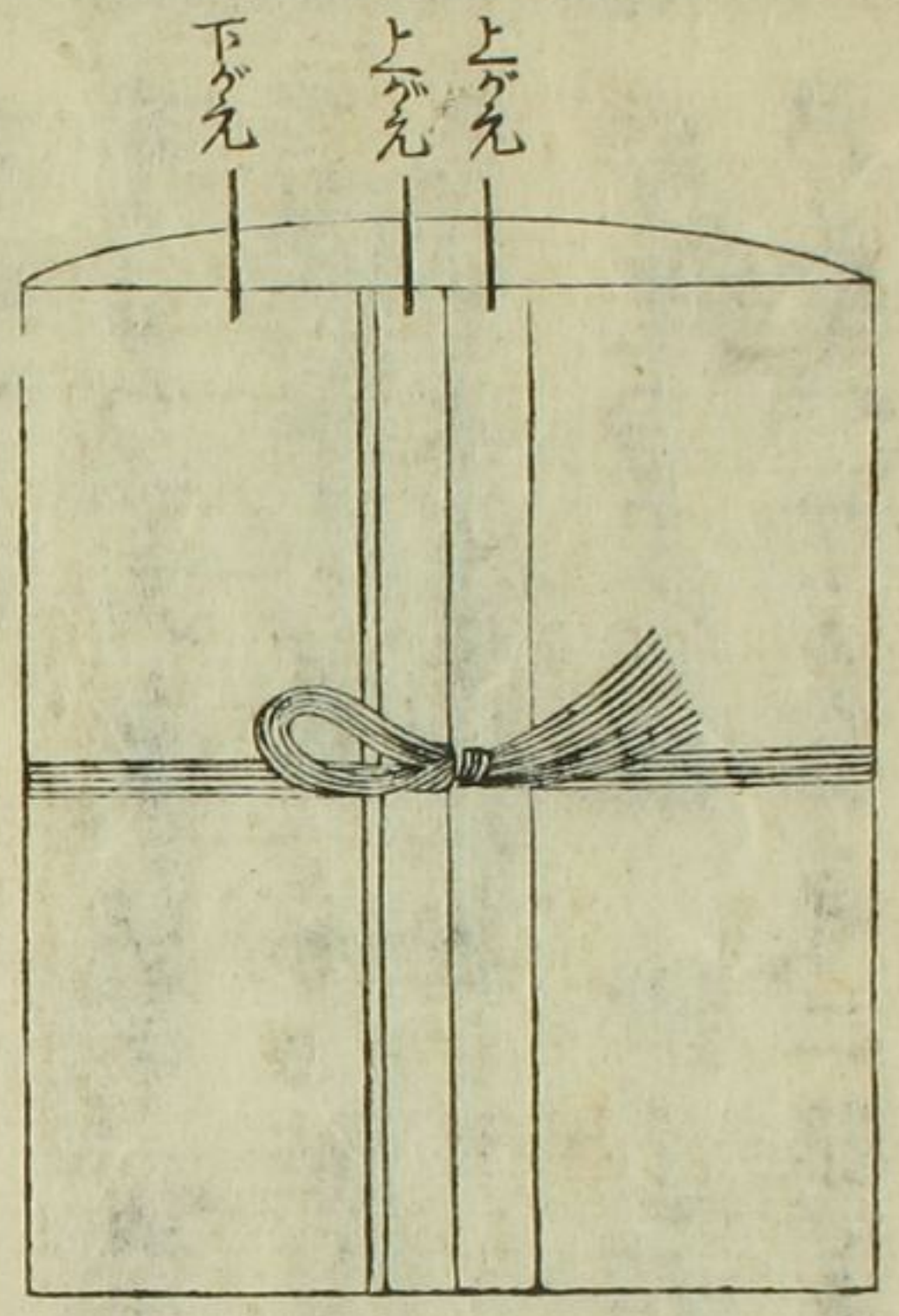
水引かきりまは紙



一 右の巻子すなはち金銀紙を貼るすは紙の巻の厚さやちりやちり紙の
 を包板の内にも唐土より液を塗る物に唐土と黄紙とを
 かきつけてはみまわす唐紙をつけてみておぼもゆきも

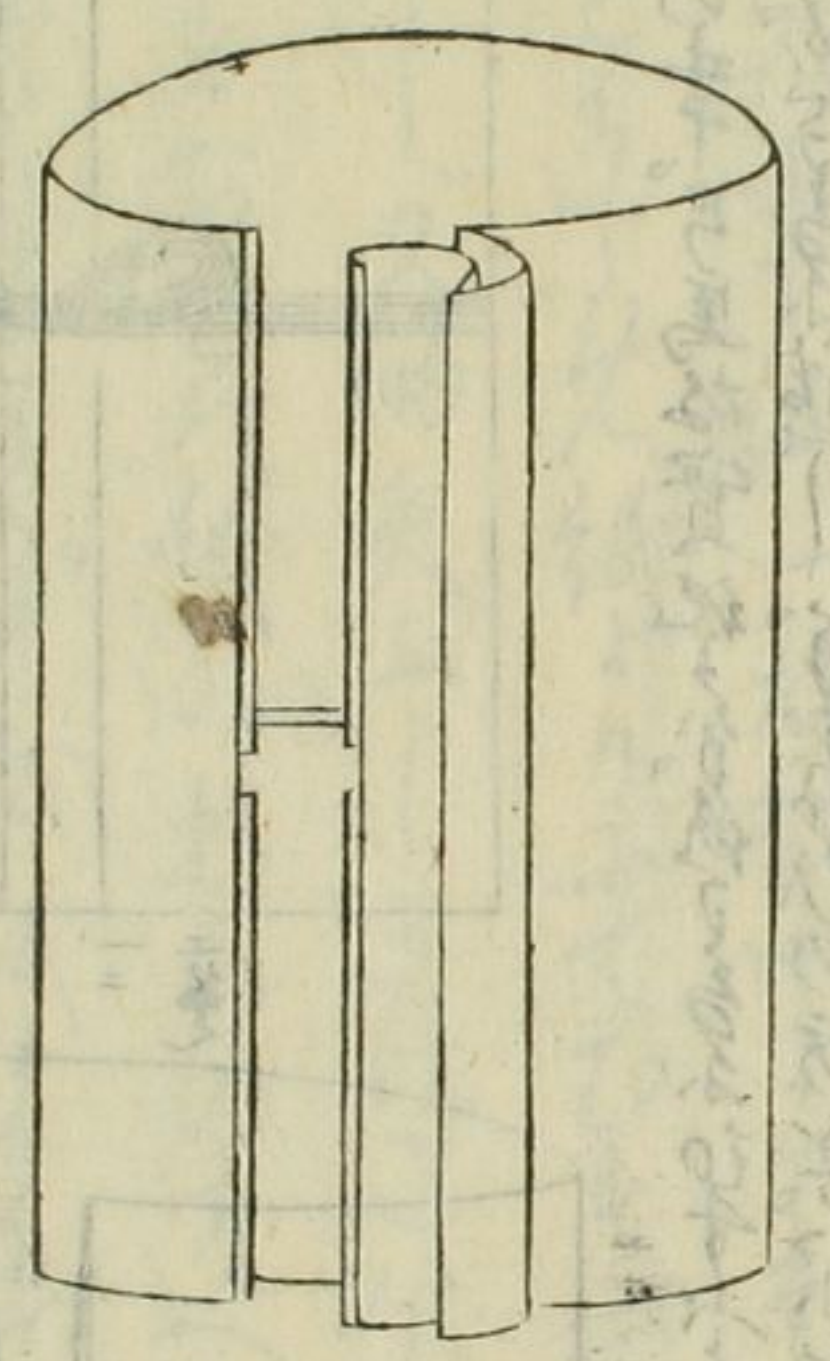
ゆきも青き紙を貼るすは紙の巻の厚さやちりやちり紙の
 を包板の内にも唐土より液を塗る物に唐土と黄紙とを
 かきつけてはみまわす唐紙をつけてみておぼもゆきも

- 一 右の巻子すなはち金銀紙を貼るすは紙の巻の厚さやちりやちり紙の
 を包板の内にも唐土より液を塗る物に唐土と黄紙とを
 かきつけてはみまわす唐紙をつけてみておぼもゆきも
- 一 右の巻子すなはち金銀紙を貼るすは紙の巻の厚さやちりやちり紙の
 を包板の内にも唐土より液を塗る物に唐土と黄紙とを
 かきつけてはみまわす唐紙をつけてみておぼもゆきも
- 一 右の巻子すなはち金銀紙を貼るすは紙の巻の厚さやちりやちり紙の
 を包板の内にも唐土より液を塗る物に唐土と黄紙とを
 かきつけてはみまわす唐紙をつけてみておぼもゆきも
- 一 右の巻子すなはち金銀紙を貼るすは紙の巻の厚さやちりやちり紙の
 を包板の内にも唐土より液を塗る物に唐土と黄紙とを
 かきつけてはみまわす唐紙をつけてみておぼもゆきも



右の色紙と紙はけはる紙の
 是れごとし。
 水引のさしはけはる紙は
 物に添てかこむるも、まゝ
 申と添てを。

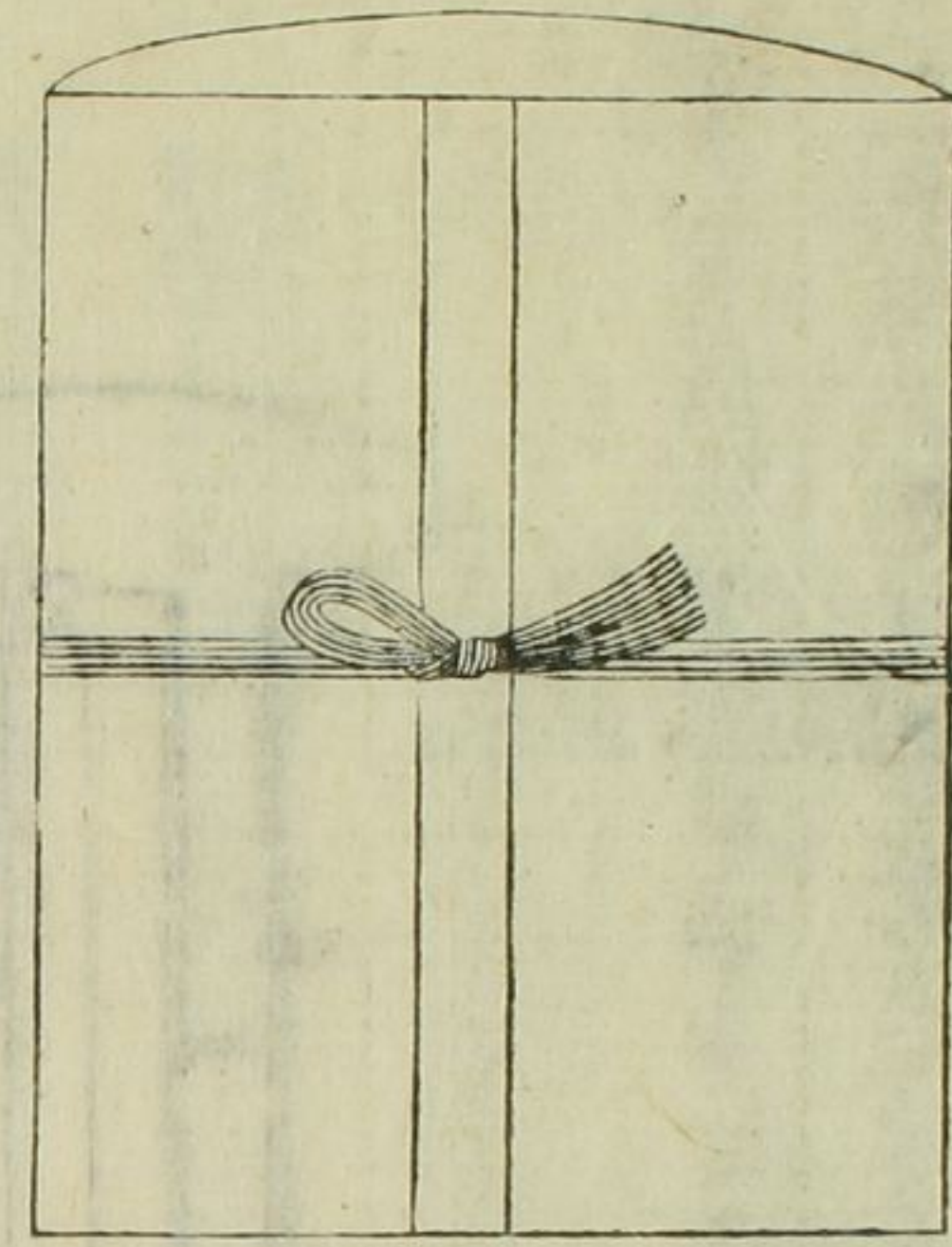
うの方				
うの方				



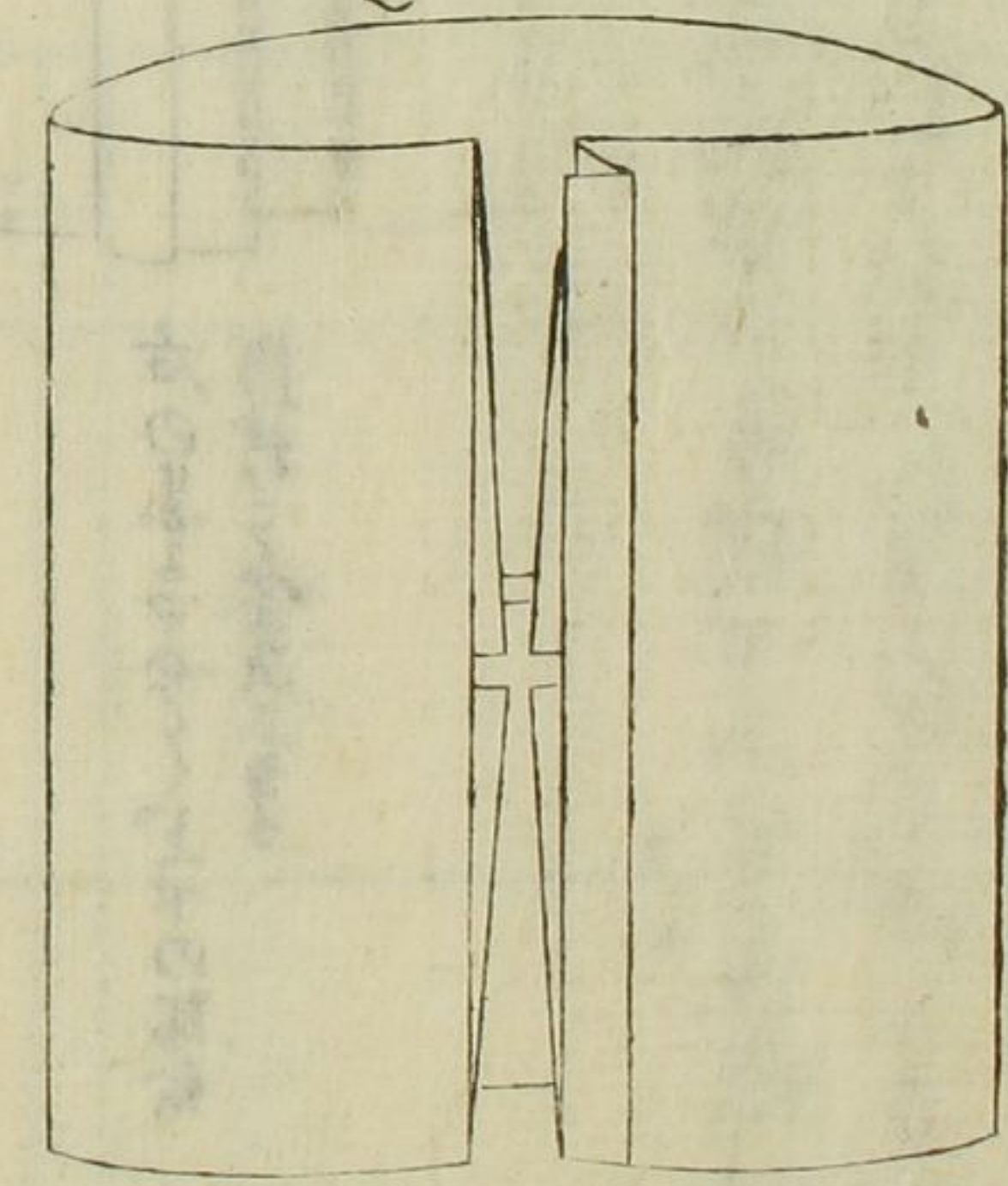
右の果のてをく上下の段は
 四つに分かたがる

一ゆがけ紙色車。右申つけ紙上。丸申が紙下ふき。然れ
 る紙紙おき寸程重く。丸申ふき。丸申ふき。ゆがけの
 手此ゆがけ色。二具なる。上。三具なる。二具
 下ふき。一具と上ふき。一具と丸申が。右申が
 け紙を添て一具との上。右の色紙は。右のき。紙は。

と折る事おぼく。上下紙内（折る）みよ。元紙を折る。右（折る）
之（折る）紙又元（折る）を巻く。

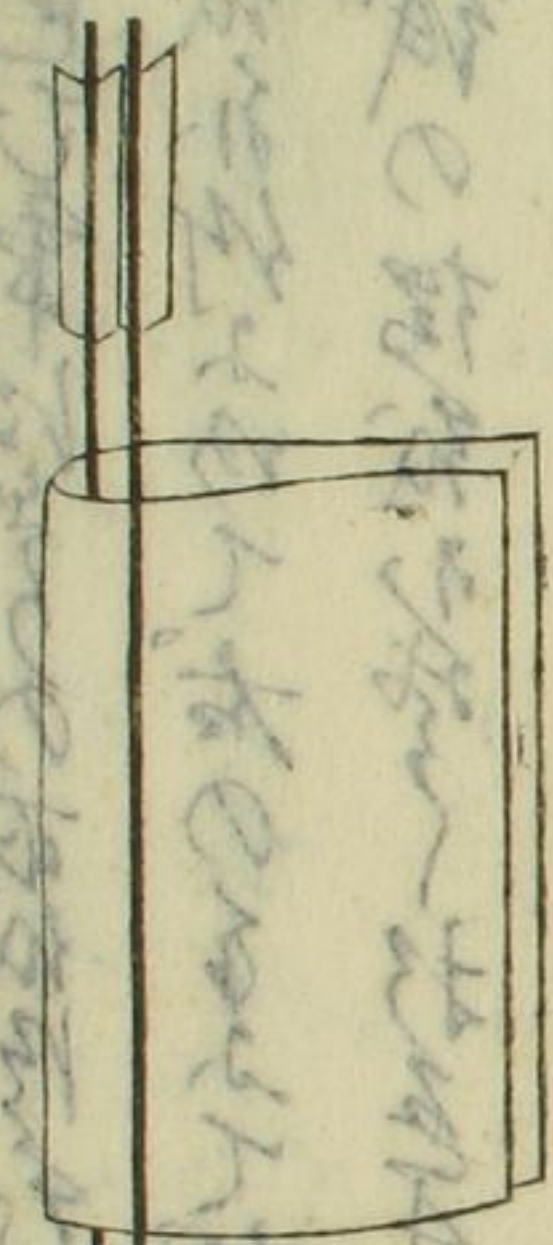


三



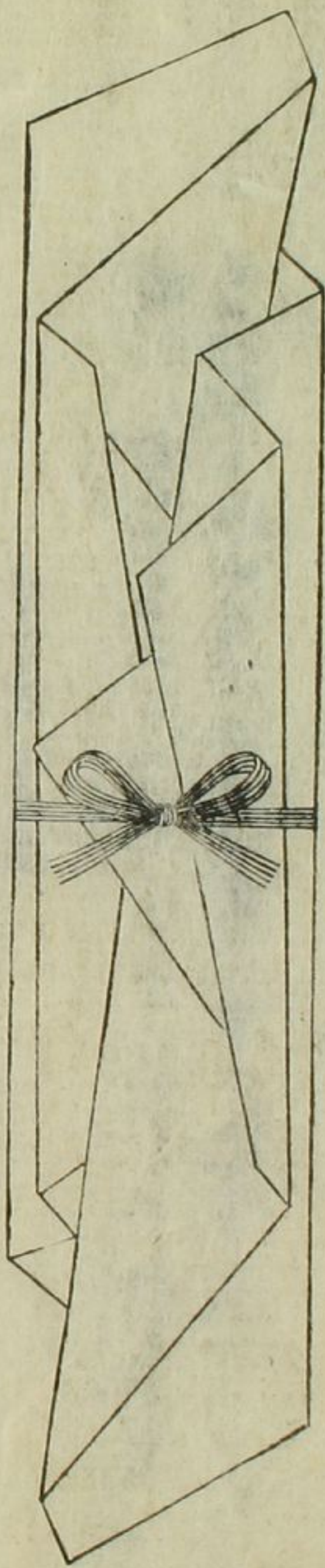
水引の事。弓馬格實記に。紙より折る事おぼく。元紙を折る。右（折る）
之（折る）紙又元（折る）を巻く。水引の事。弓馬格實記に。紙より折る事おぼく。元紙を折る。右（折る）
之（折る）紙又元（折る）を巻く。

一 矢紙色む事。紙一枚紙中より折る事おぼく。元紙を折る。右（折る）
之（折る）紙又元（折る）を巻く。水引の事。弓馬格實記に。紙より折る事おぼく。元紙を折る。右（折る）
之（折る）紙又元（折る）を巻く。



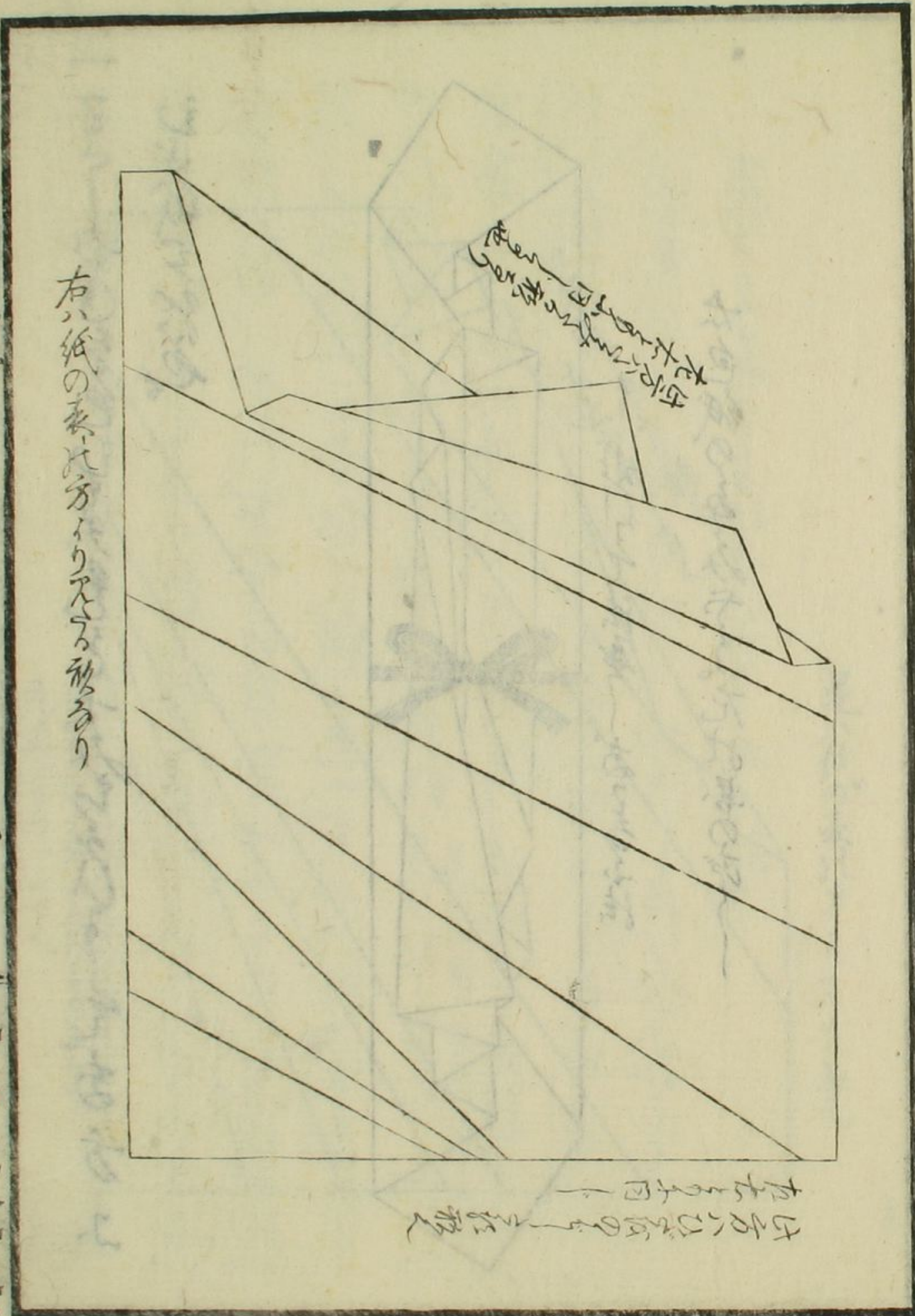
水引の事。弓馬格實記に。紙より折る事おぼく。元紙を折る。右（折る）
之（折る）紙又元（折る）を巻く。

一帯を包む。紙とよみちがひして。あ方にむかひ取直す。
懐妊の婦人此の帯も。ふせと申す。色紙帯
幸也。



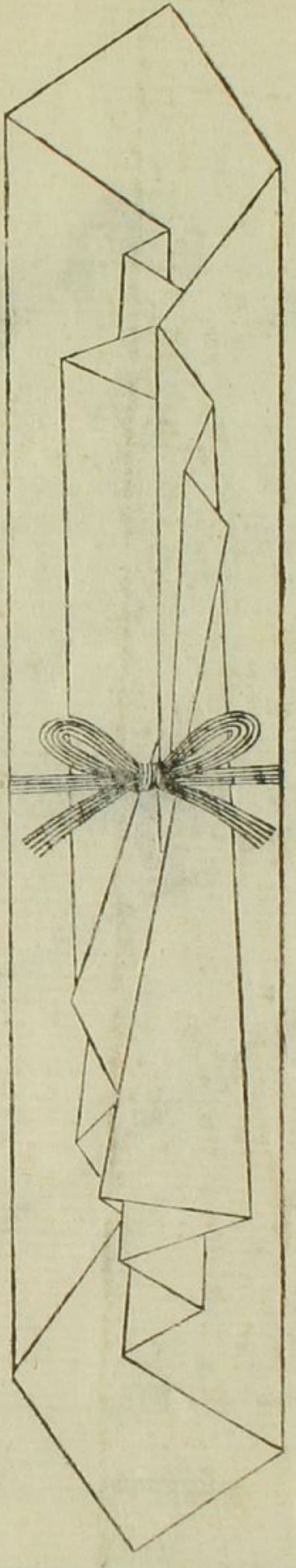
中と水引と申す。あつらひ

右の色紙折やうたれまのぶら。



右の紙の表は方より入る形あり

一、この紙を色紙と見做し、色紙をすみぢがひりて、あ方ふ
紙の紙を紙也。

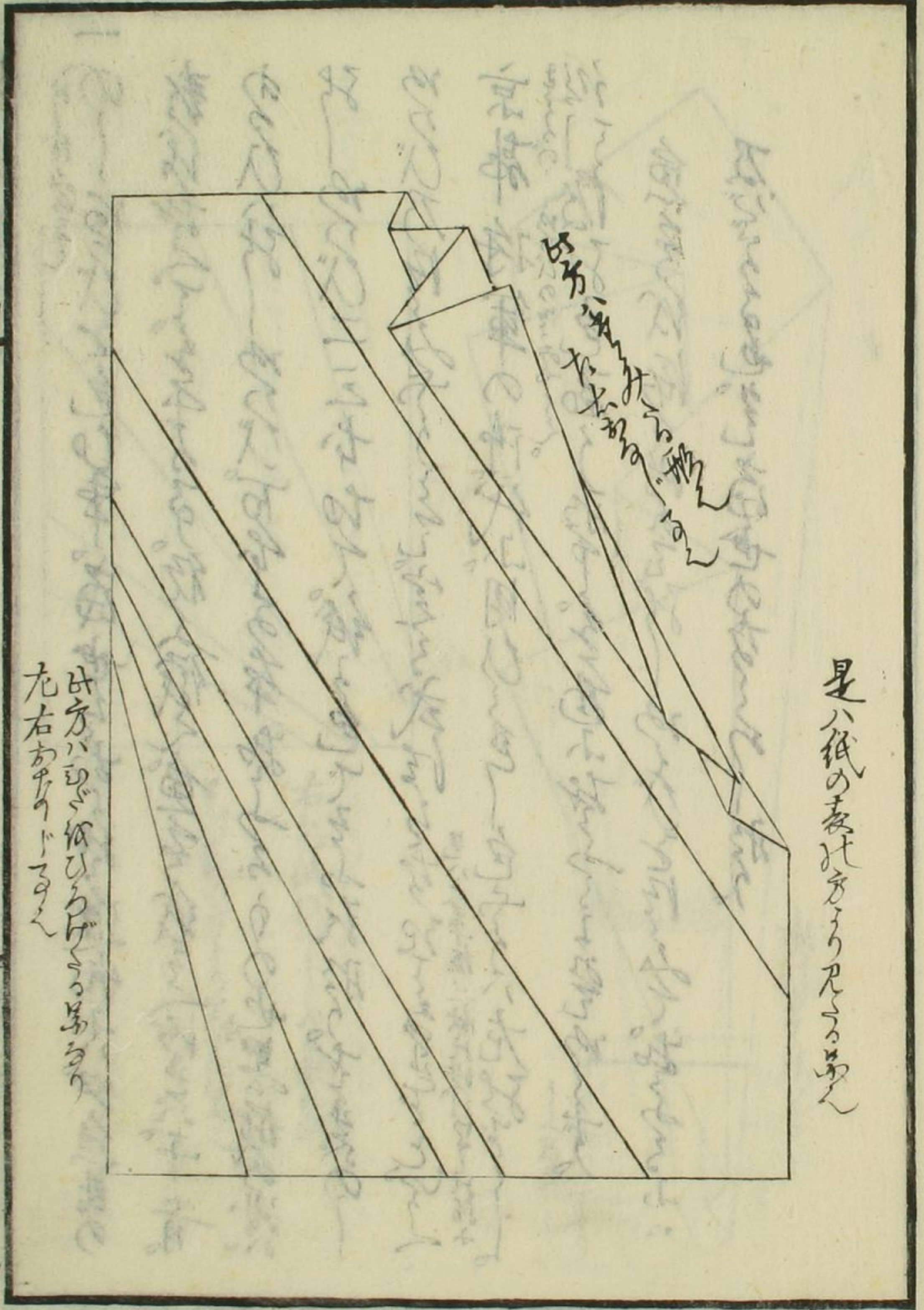


水引て法なり。あつる法

太色紙のみみやう。たれ馬のぶら

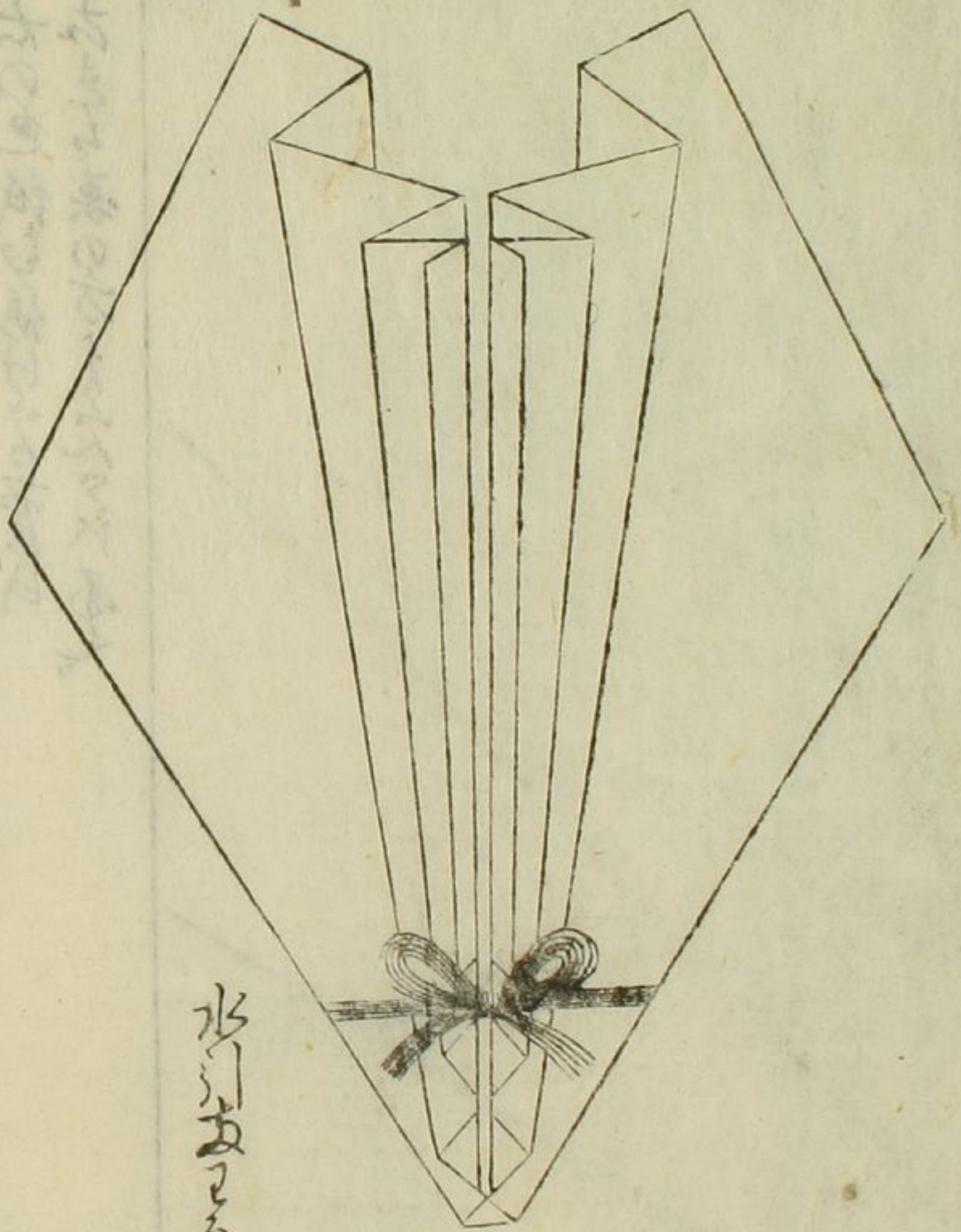
是ハ紙の表に方より凡ゆるあ

Handwritten text at the top of the page, partially obscured by a dark border.



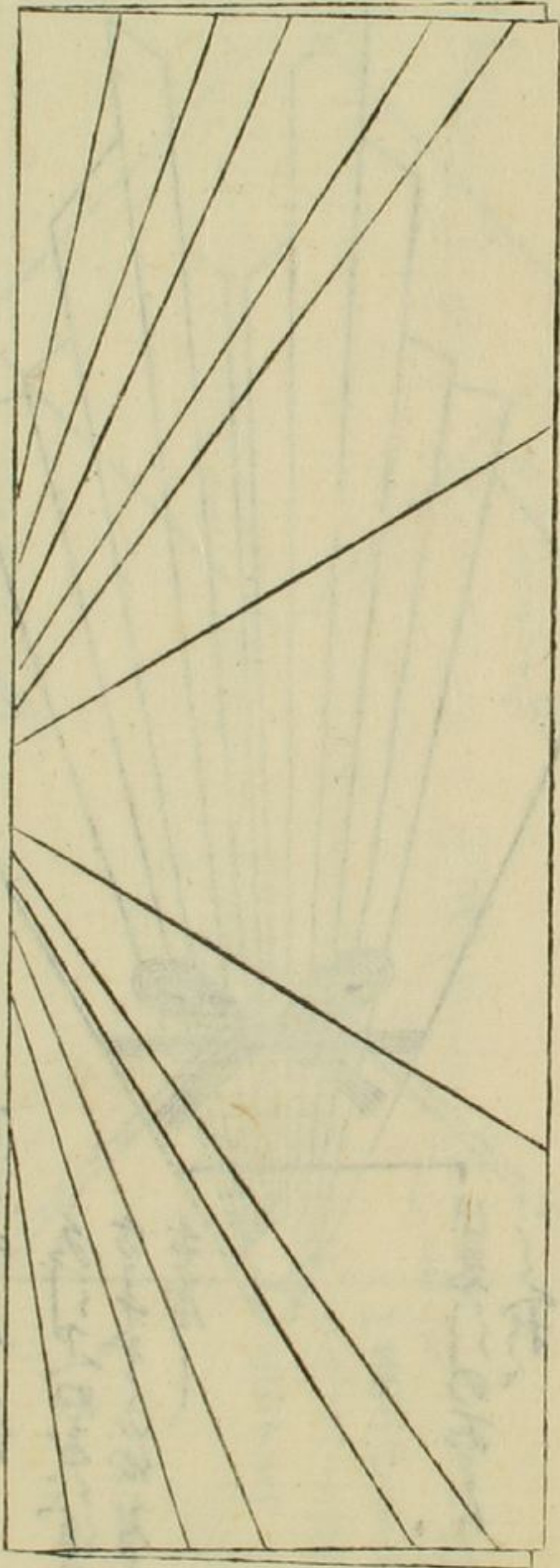
此方ハ紙の表に方より凡ゆるあ
九右ありト云ふ

一 單花紙のむき。紙を横小二つ折り。この方へ長く下と六
せむし折。又方小折。紙ありん。



水引ありのむき

右の色紙のむき



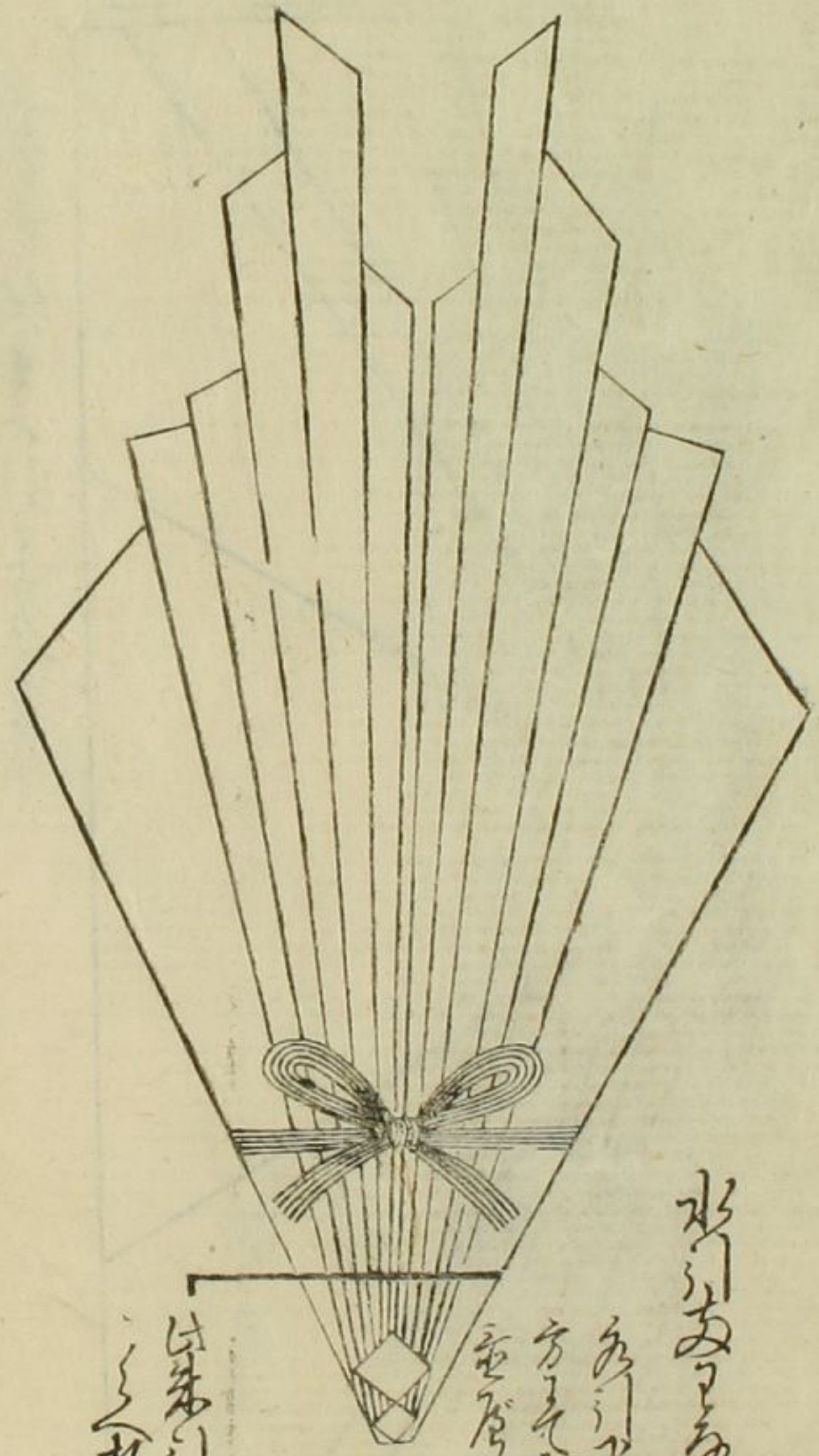
紙の横小二つ折る紙ありん

一 扇紙色むき。一色と云ふ十巾也。紙を横小二つ折。又方小折。紙ありん。右の色紙のむき。紙を横小二つ折る紙ありん。右の色紙のむき。紙を横小二つ折る紙ありん。

青
山
堂
集
卷
之
一

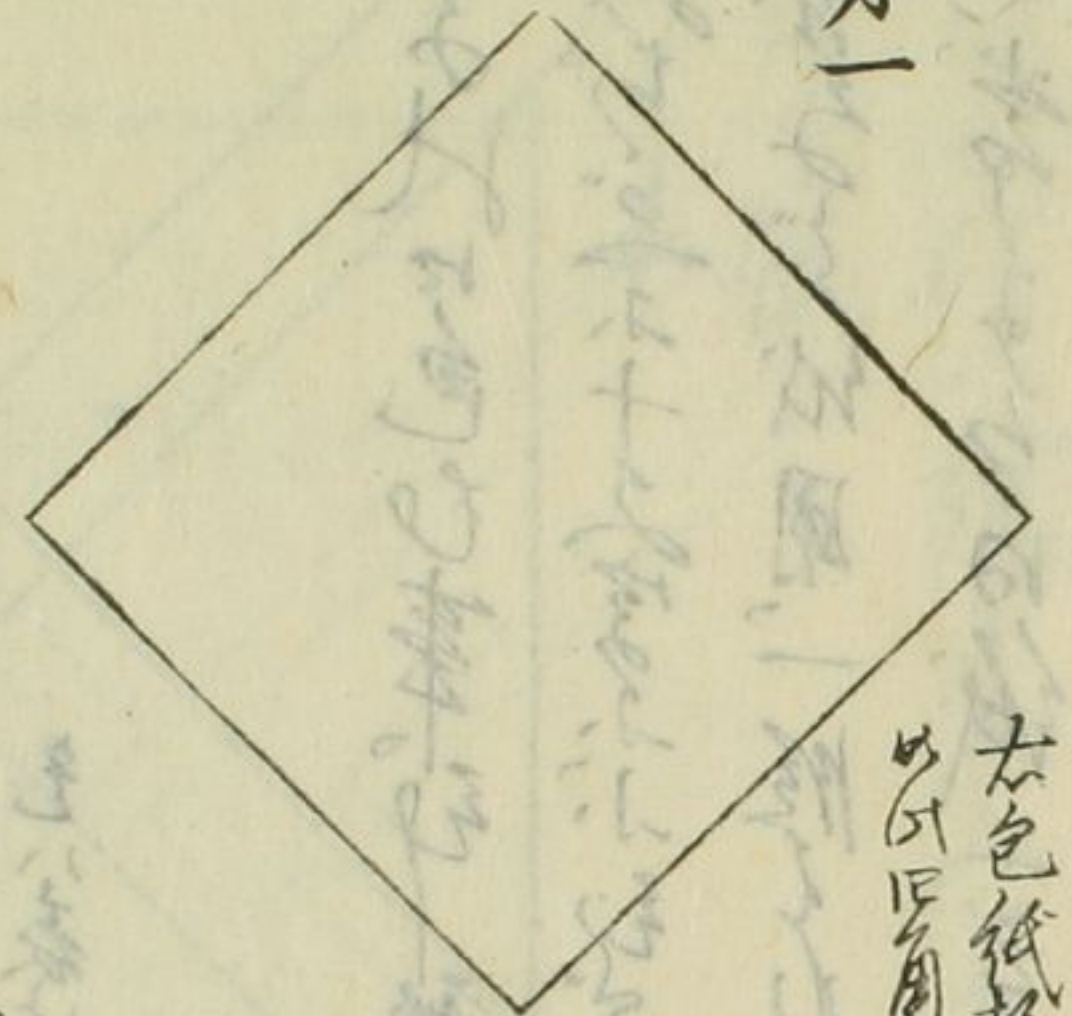
青
山
堂
集
卷
之
一

職人小色まる色さうはなうくそみさうさうを
こころとておぼせし色むほみちう。はなうく色むふ
かたさうの形。



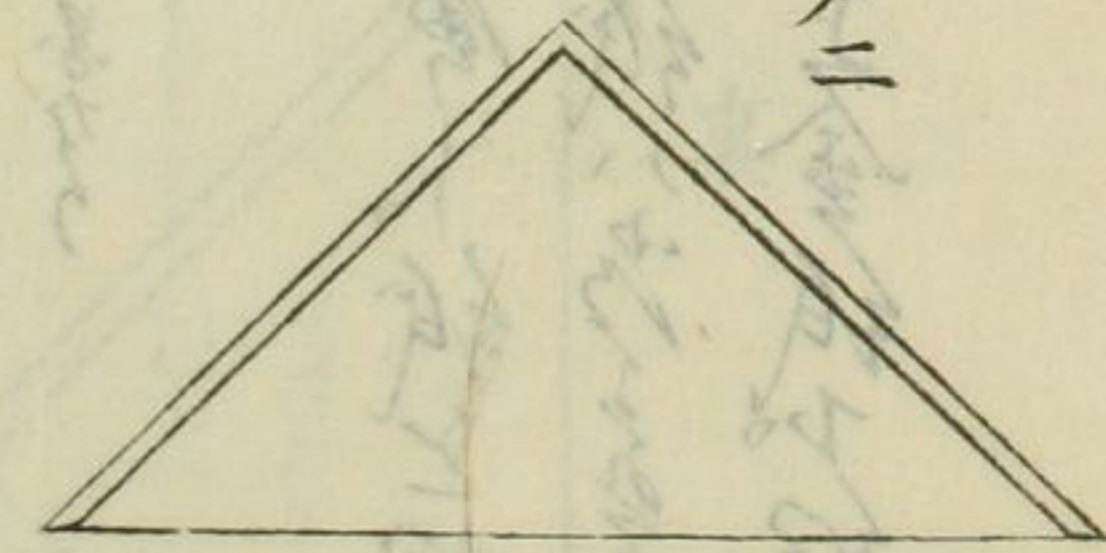
水引あきあふ様
あしうへおぼせし後の
方をそくの紙を
垂る
はなうくのあし
うく

才一



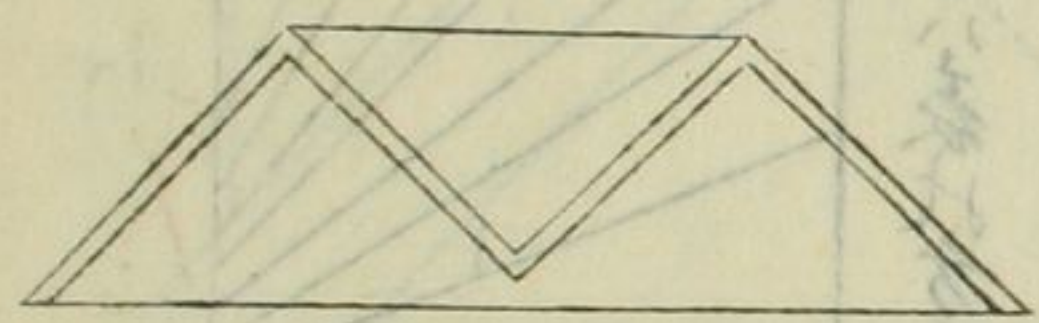
女色紙おぼせし紙を
あしうへおぼせし

才二

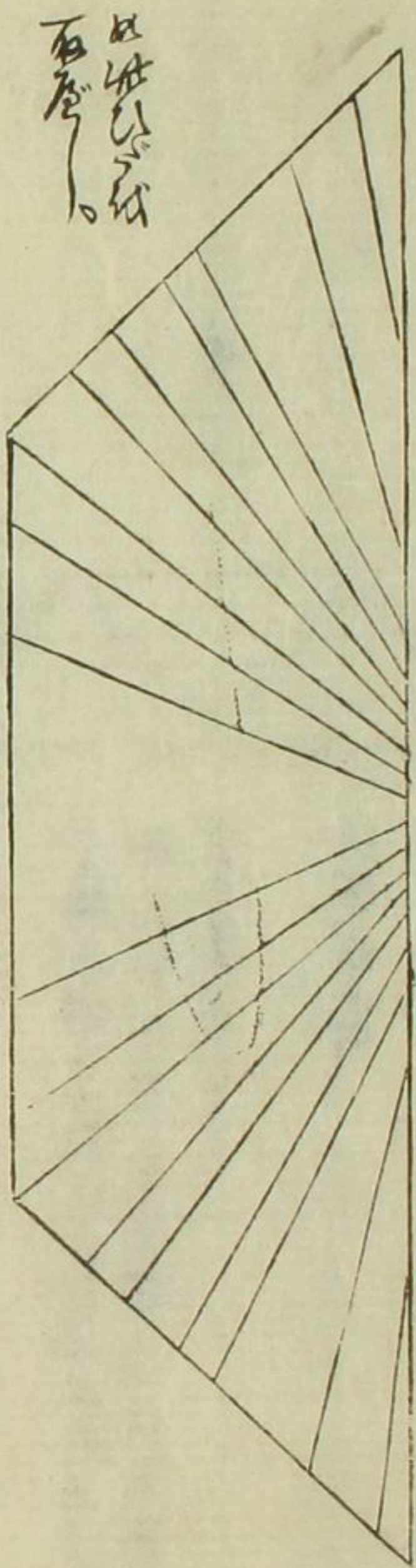


四角お切さうを
あし二つおぼせし
三角おぼせし

才三



三角おぼせし後の方紙を
あしおぼせし紙を
あしおぼせし紙を
あしおぼせし紙を
あしおぼせし紙を
あしおぼせし紙を



紙の
厚さ

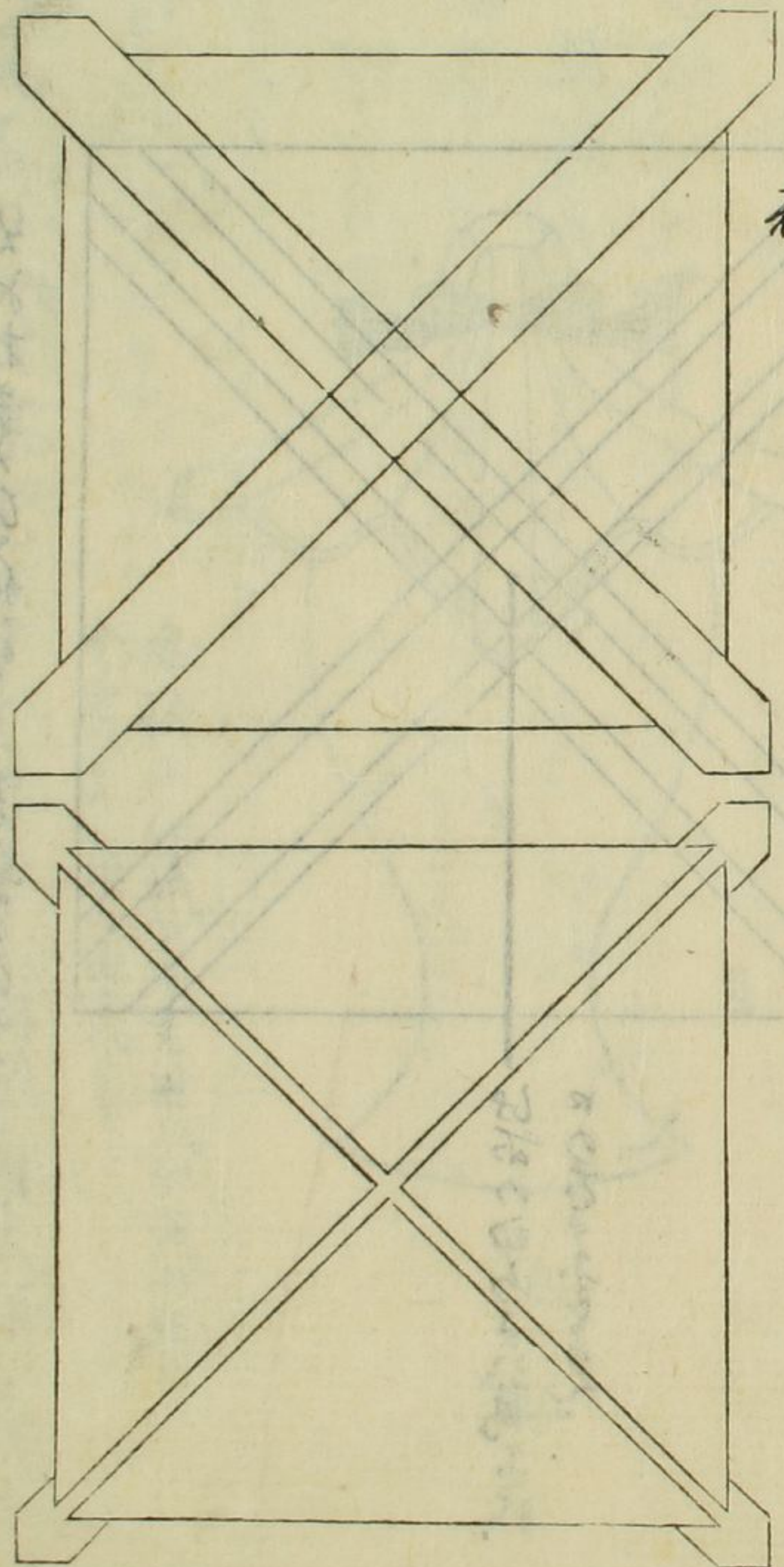
先ハ表紙方より入る方なり

一 瓶子に色む事。形も色も厚し。紙と四方小切を
 とみぢぐふ十字字ふ小むが紙をぐ一紙ハ紙をきん
 引合ふと紙用。一紙を几なる時ハ上金紙ハ紙をきん
 折ん帯りする白紙一きん也。

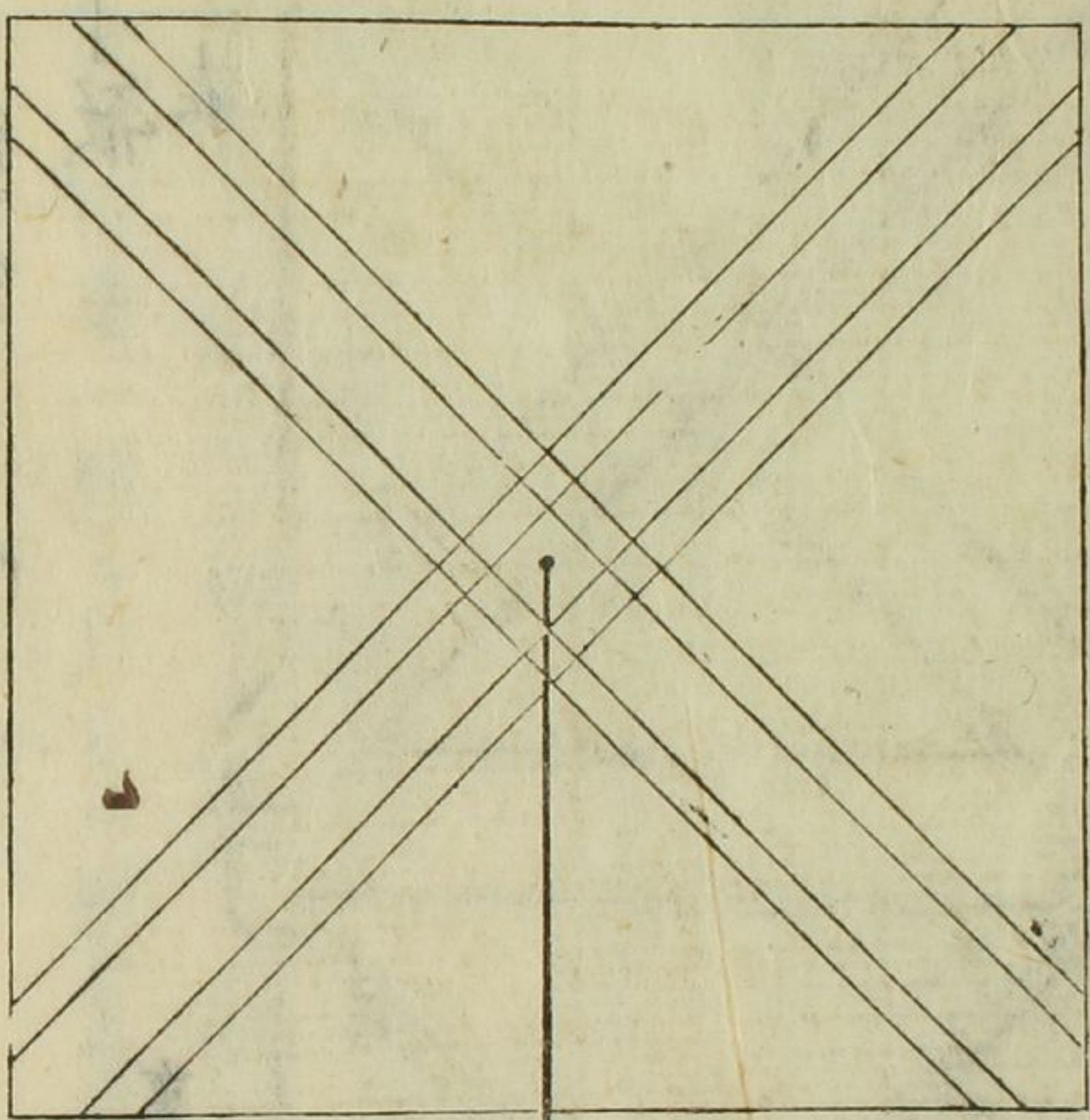
水引を結て端ふちみど有也。

印紙
表

裏

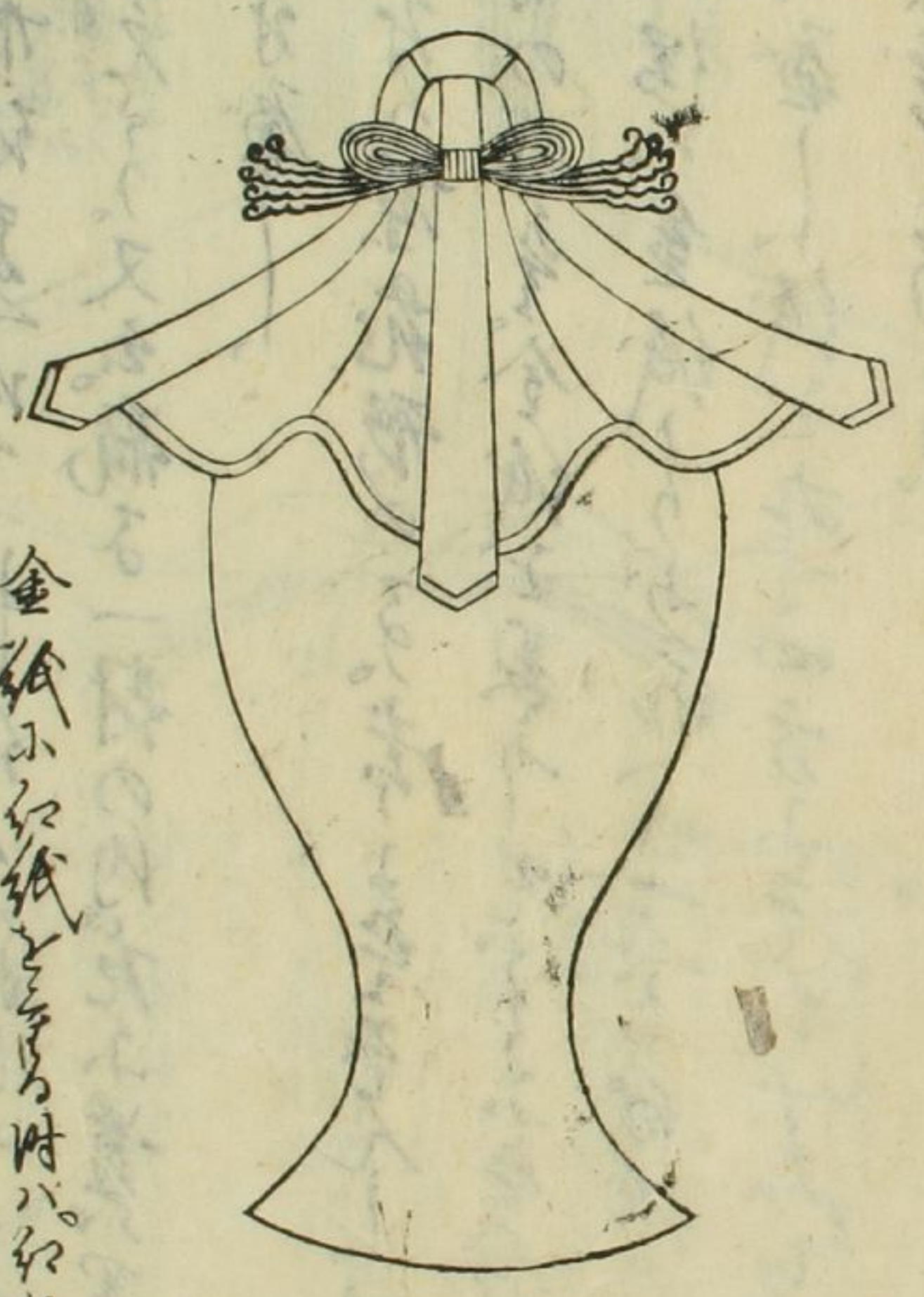


大に打きたるひき紙は、ある所のひき紙をいふ。



は、水のひきたるひき紙は、
口のたてふ紙をいふ。

瓶子の口色とる形紙也



金紙、小紅紙をきり、附ハ、和紙の襦。
金紙より和紙より

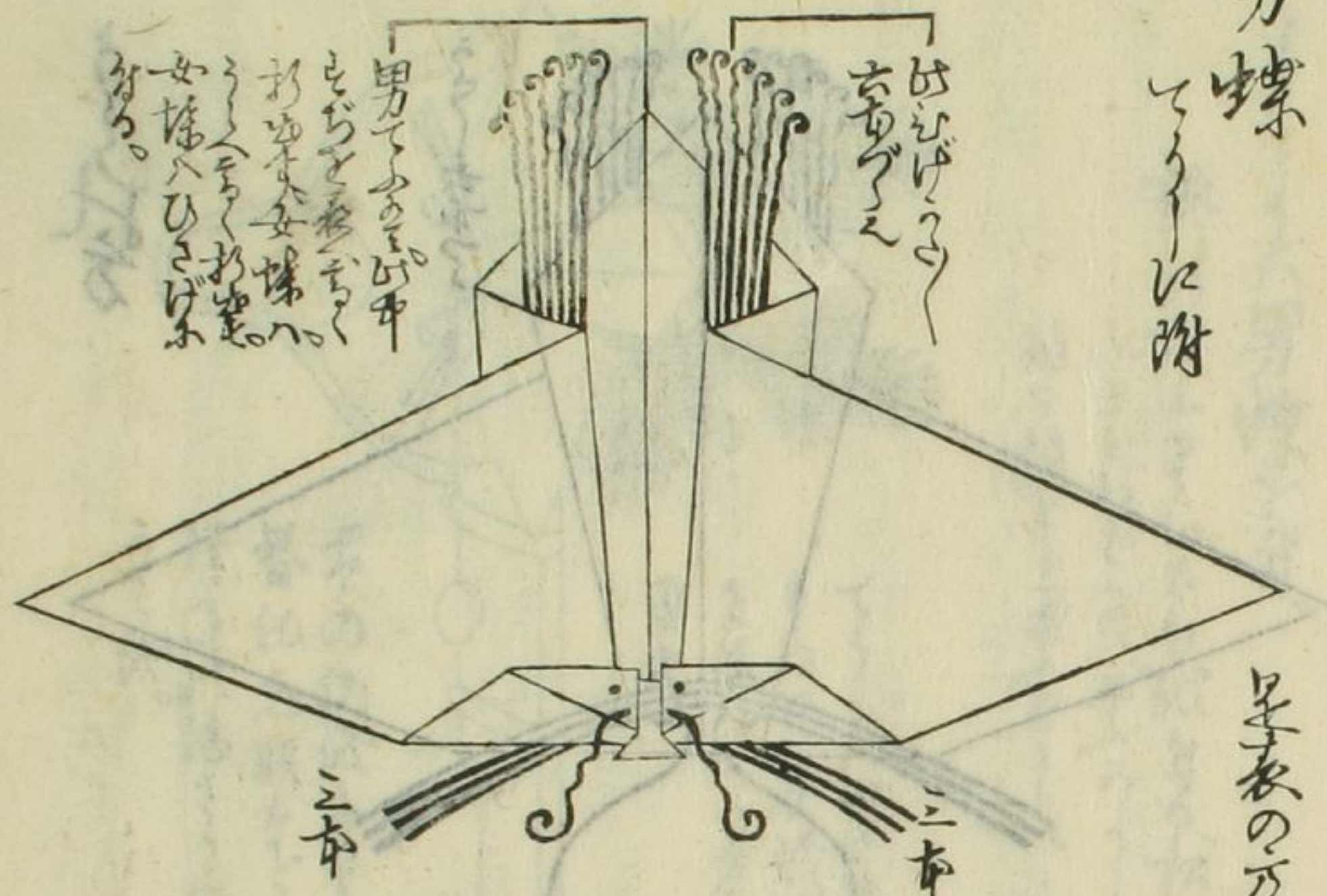
又瓶子の口紙棟花形、口紙をきり、附ハ、和紙と襦。

二つ小切を。瓶子の口紙を紙とむすく。中折を。女
蝶花形紙を。あつめて。じ紙を。法びを。蝶花形の紙
を。あつて。又云。瓶子一對の内。たふ置。男蝶。女首。が
女蝶と。折る。

一。瓶子の口紙。蝶花形の紙。を。あつて。中折を。折る。
一。瓶子の口紙。金紙と。表紙と。あつて。中折を。折る。
一。瓶子の口紙。金紙より。少。あつて。中折を。折る。
一。瓶子の口紙。紙と。九寸四方。あつて。中折を。折る。
一。瓶子の口紙。紙と。九寸四方。あつて。中折を。折る。

男蝶

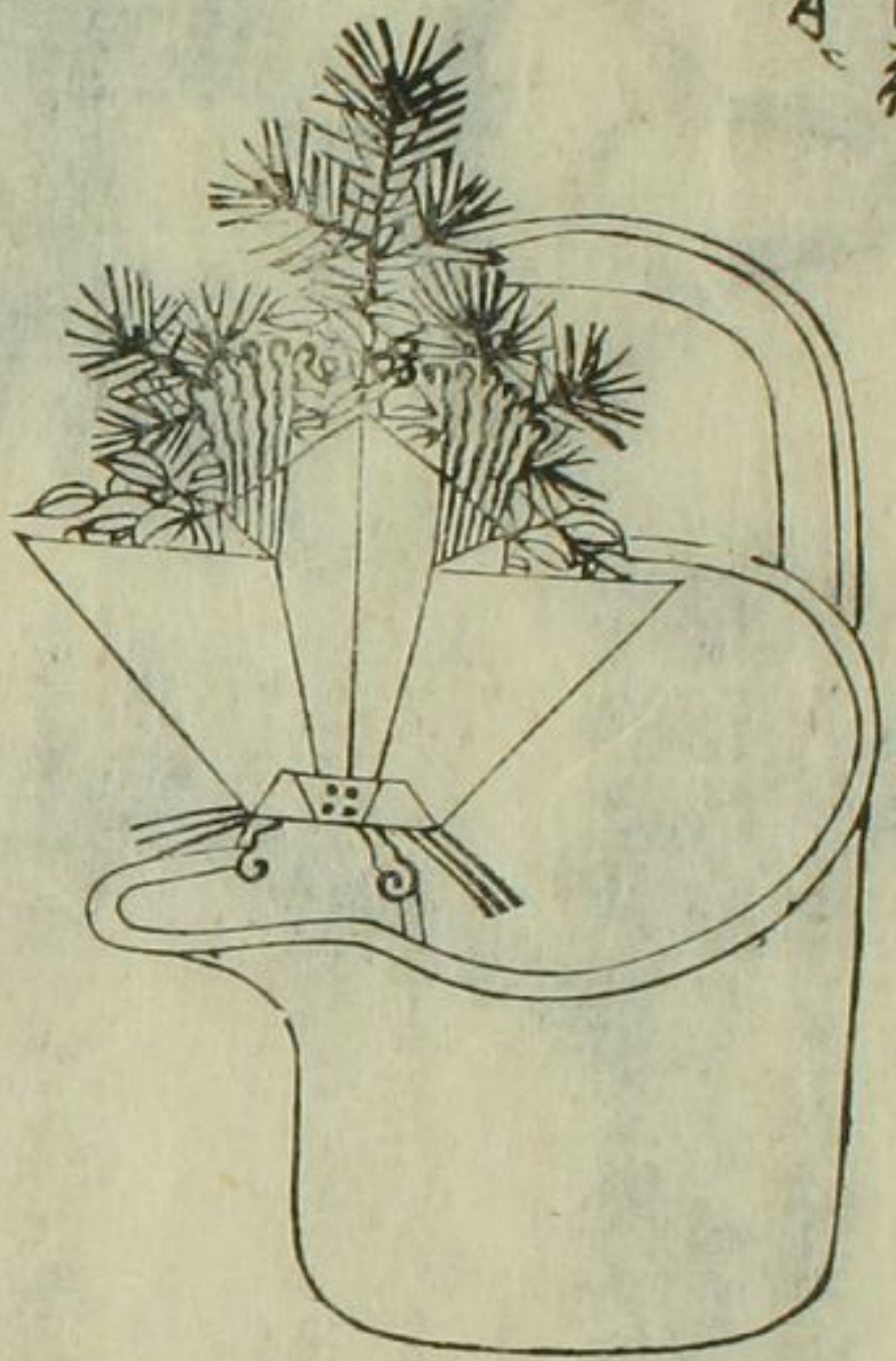
てうに附



是表の方は是

目八紙の水引紙。摺を。信び。あつて。中折を。折る。
一。瓶子の口紙。金紙と。表紙と。あつて。中折を。折る。
一。瓶子の口紙。金紙より。少。あつて。中折を。折る。
一。瓶子の口紙。紙と。九寸四方。あつて。中折を。折る。
一。瓶子の口紙。紙と。九寸四方。あつて。中折を。折る。

松一本
山をり死
二本付



ひまげの女様

一 松一本 山をり死 二本付
二 松一本 山をり死 二本付
三 松一本 山をり死 二本付
四 松一本 山をり死 二本付
五 松一本 山をり死 二本付
六 松一本 山をり死 二本付
七 松一本 山をり死 二本付
八 松一本 山をり死 二本付
九 松一本 山をり死 二本付
十 松一本 山をり死 二本付

一 祀子此古口の包紙の事。是も法式なり。てうりー
片のてうりー本式なり。是も古式中て用ひしり
何れもてうりー口の包紙なり。是も古式中て用ひしり
何れもてうりー口の包紙なり。是も古式中て用ひしり
何れもてうりー口の包紙なり。是も古式中て用ひしり
何れもてうりー口の包紙なり。是も古式中て用ひしり
何れもてうりー口の包紙なり。是も古式中て用ひしり
何れもてうりー口の包紙なり。是も古式中て用ひしり
何れもてうりー口の包紙なり。是も古式中て用ひしり
何れもてうりー口の包紙なり。是も古式中て用ひしり
何れもてうりー口の包紙なり。是も古式中て用ひしり

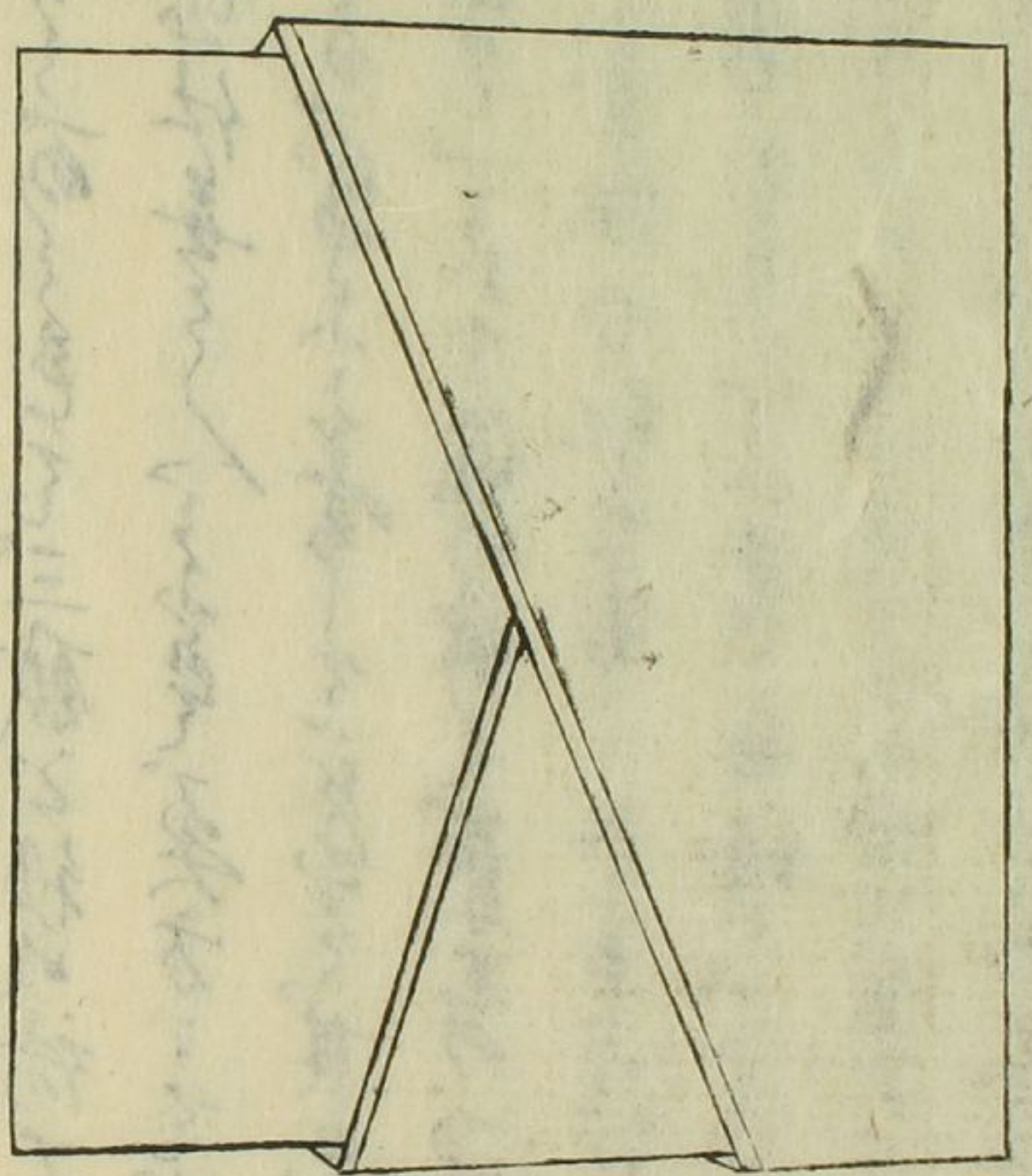
物なるは。口のぬらふ箸を紙箱く切て。梅ふくく切
うひく。紙の箸ふくく。紙は帯て。包紙を女重く。
乞法式をふくく。紙の口のて。一。異紙なる。

古親子の口包紙。巾。大。厚。紙。大。厚。紙。進士。紙の
あ。紙。を。一。一。京。部。将。軍。の。用。ひ。紙。也。一。危。丁。此
紙。紙。なり。ど。ど。食。物。吞。物。ふ。け。る。飾。物。折。紙。包。紙
を。危。丁。人。の。紙。紙。の。用。ひ。也。

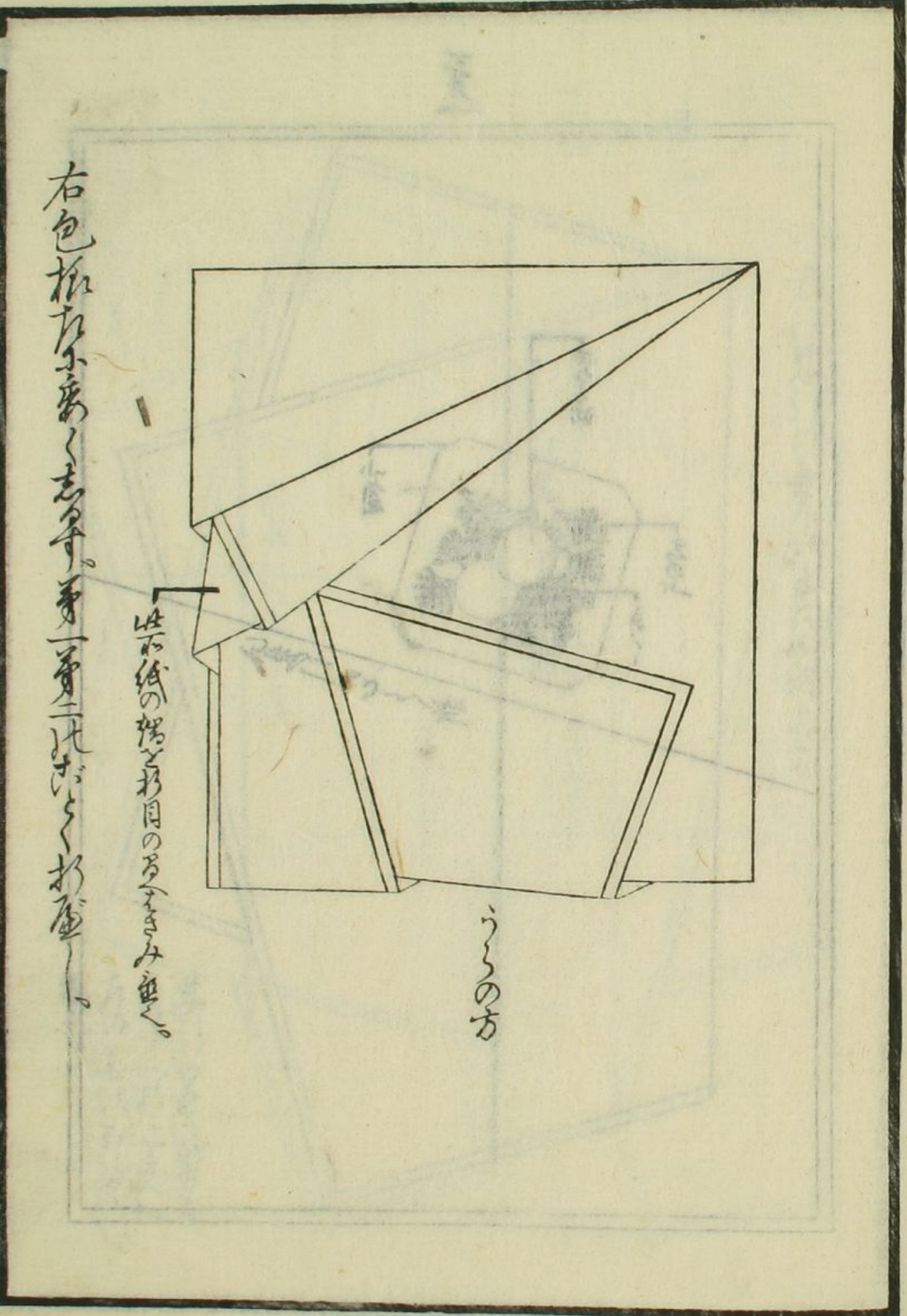
一。玄。猪。の。餅。色。や。う。の。事。京。部。将。軍。家。所。用。紙。の。餅。紙
所。産。重。重。と。い。は。れ。り。さ。り。も。と。と。餅。を。重。重。と。い。は。れ。り。
又。一。其。意。石。の。餅。を。重。重。と。い。は。れ。り。所。産。重。重。と。い。は。れ。り。

赤。も。づ。く。あ。く。色。を。三。紙。と。秘。め。諸。大。名。紙。下。出。仕。の。用。ふ
紙。を。出。仕。重。重。と。い。は。れ。り。又。方。々。中。福。紙。包。紙。を
上。福。紙。包。紙。と。い。は。れ。り。其。色。紙。は。合。合。と。い。は。れ。り。
二。の。下。紙。を。一。下。紙。の。紙。と。い。は。れ。り。一。下。紙。の。紙。と。い。は。れ。り。
紙。と。金。銀。の。紙。と。い。は。れ。り。二。下。紙。の。紙。と。い。は。れ。り。切。紙。と
い。は。れ。り。重。重。と。い。は。れ。り。三。下。紙。の。紙。と。い。は。れ。り。三。色。と
い。は。れ。り。又。上。色。と。い。は。れ。り。今。の。紙。包。紙。の。由。を。紙。包。紙。
重。重。と。い。は。れ。り。又。三。紙。と。い。は。れ。り。大。角。の。折。紙。と。い。は
れ。り。其。紙。包。紙。の。折。紙。と。い。は。れ。り。重。重。と。い。は。れ。り。一。番。の
紙。と。い。は。れ。り。二。番。の。紙。と。い。は。れ。り。三。番。の。紙。と。い。は。れ。り。

志は物といふものの形をなすは由は又意の深さより色紙沈の如
一はたかりさる色紙 引合の紙一をさる色紙



表の方
人形

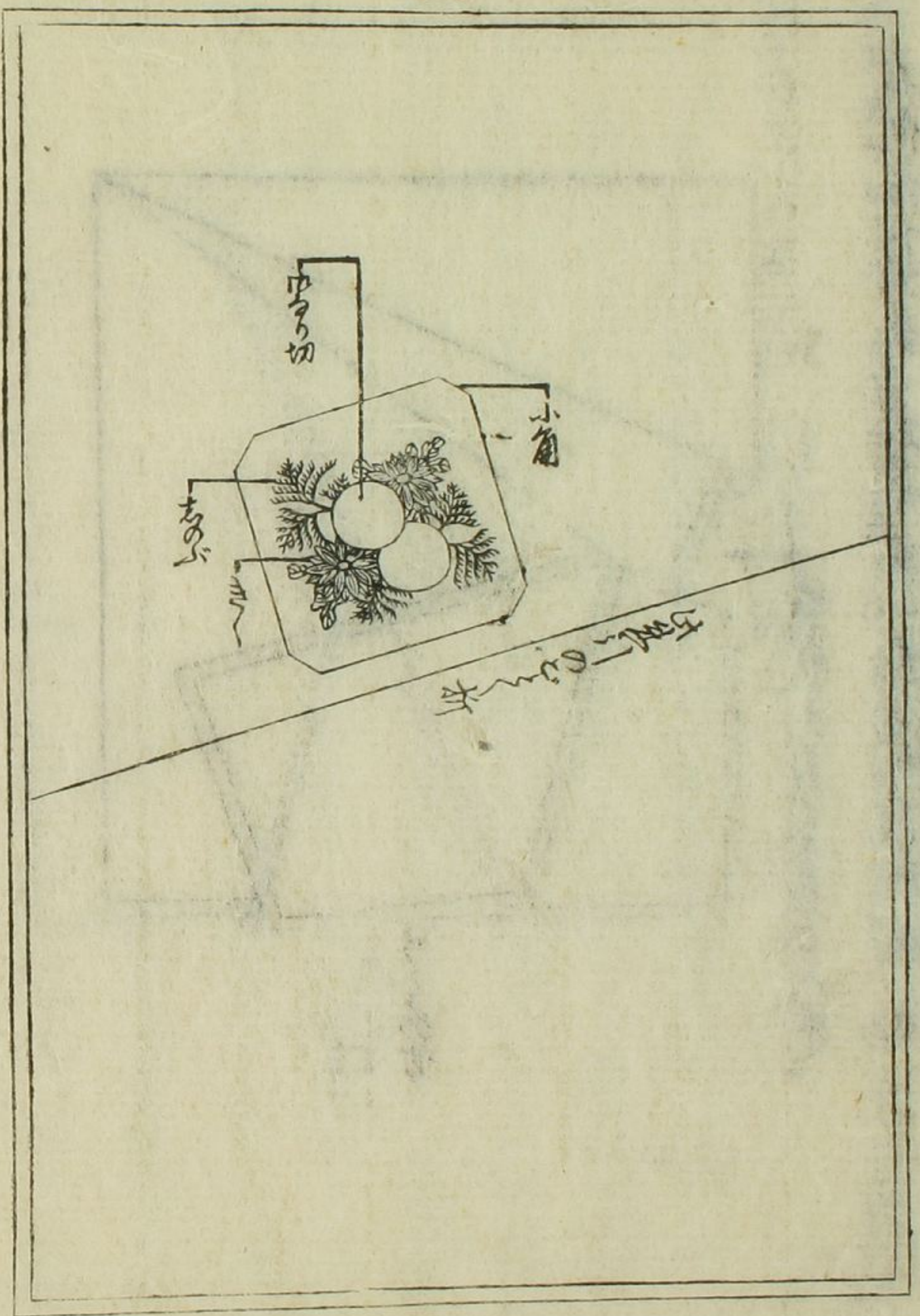


右色紙は左より志す。第一第二ははたかり色紙

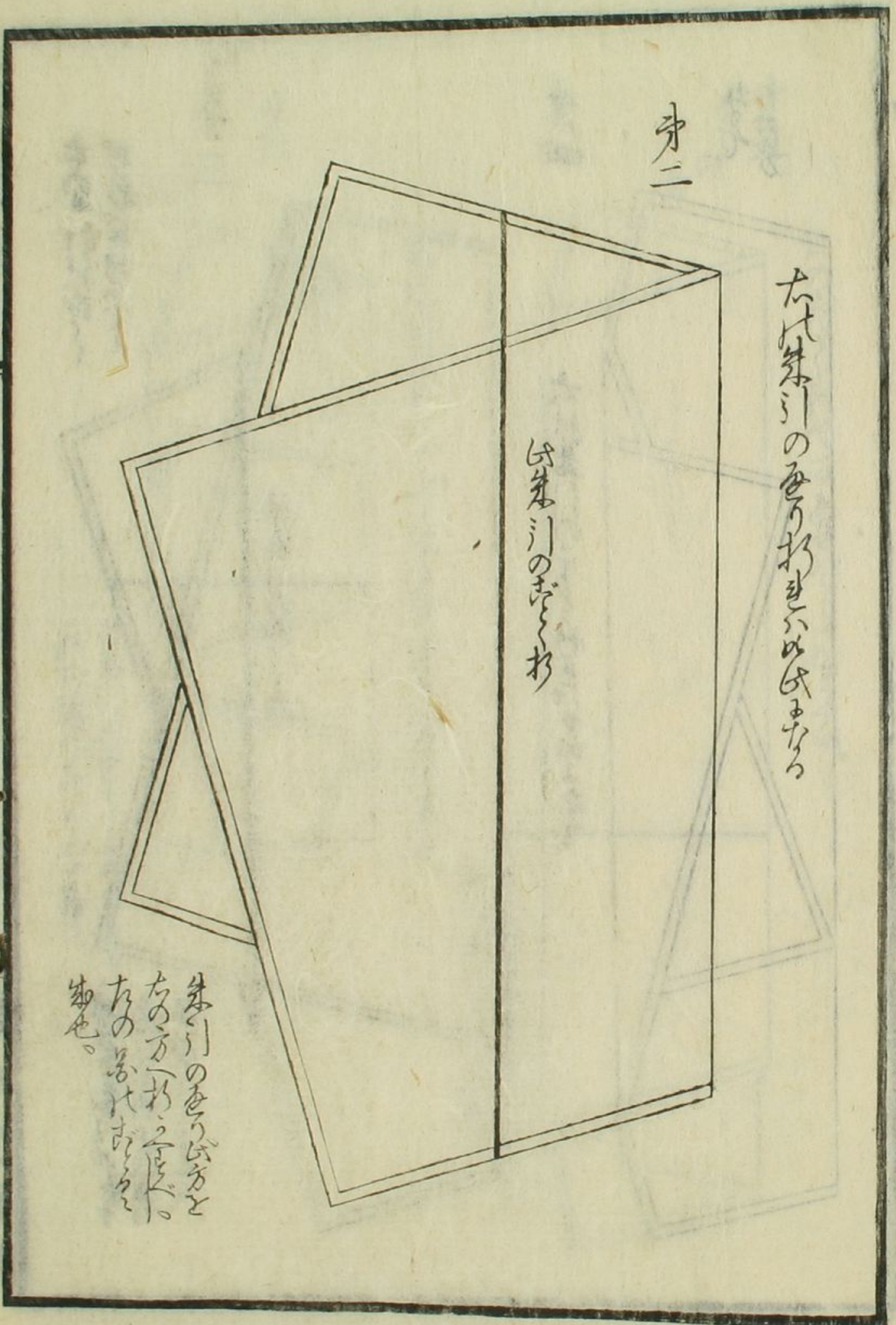
はたかりの紙と目目のあはれみ無し

うらの方

一



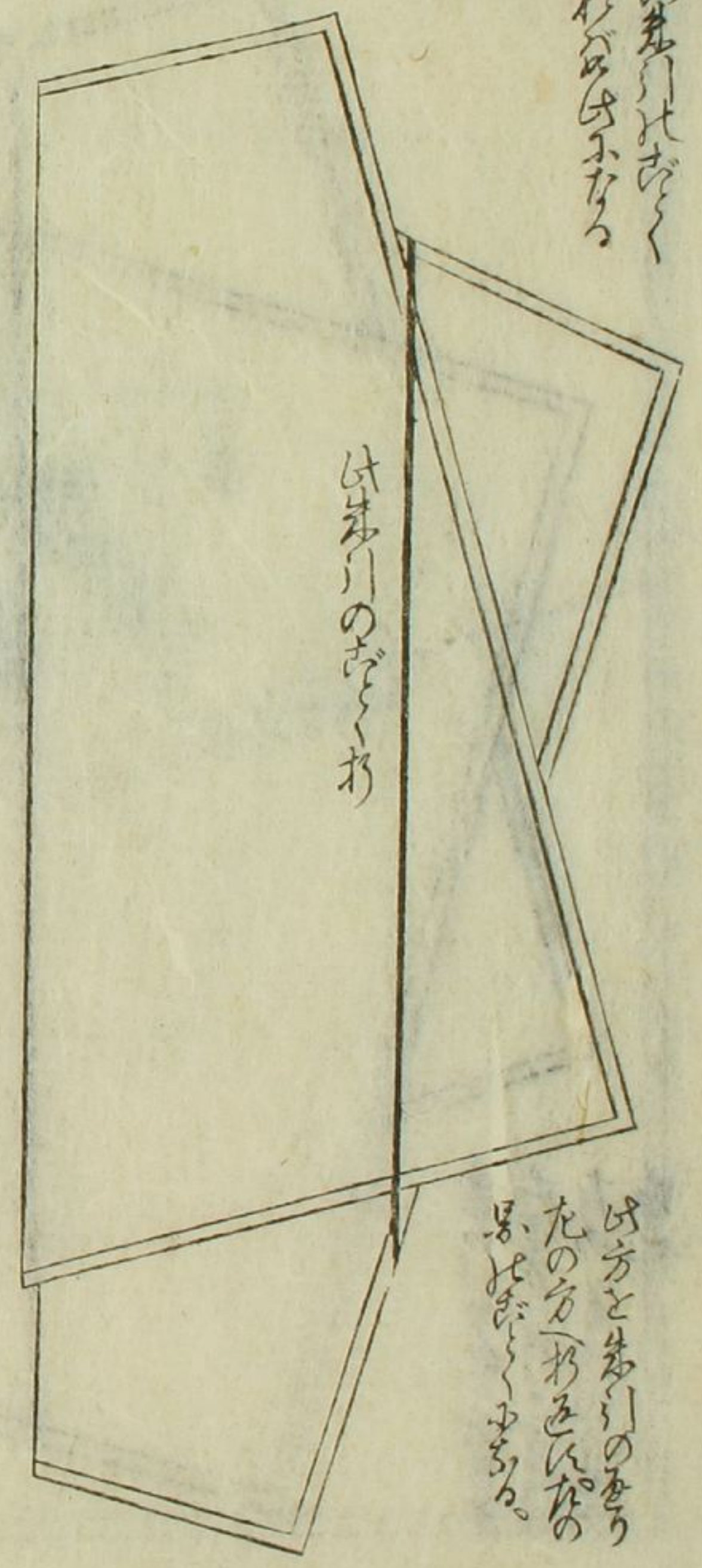
二



糸川のまじりとは
 ちの方一折之度
 ちのまじり
 物也。

右の身引はさく
おねがひなる

身三



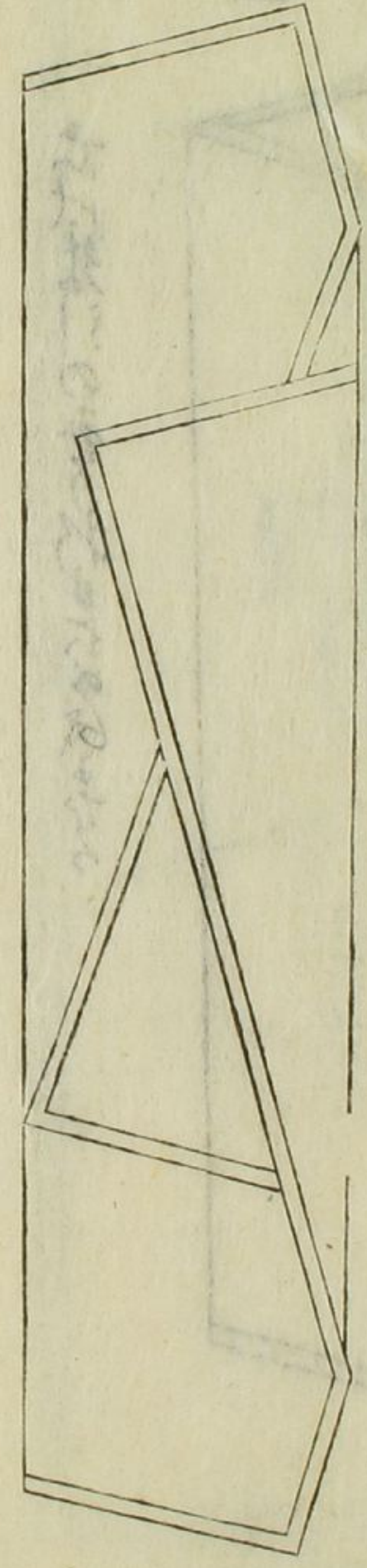
は身引のさくお

は方と身引のさり
丸の方おさへは
果はさくおなる

身四

太は身引のさくおさへなる

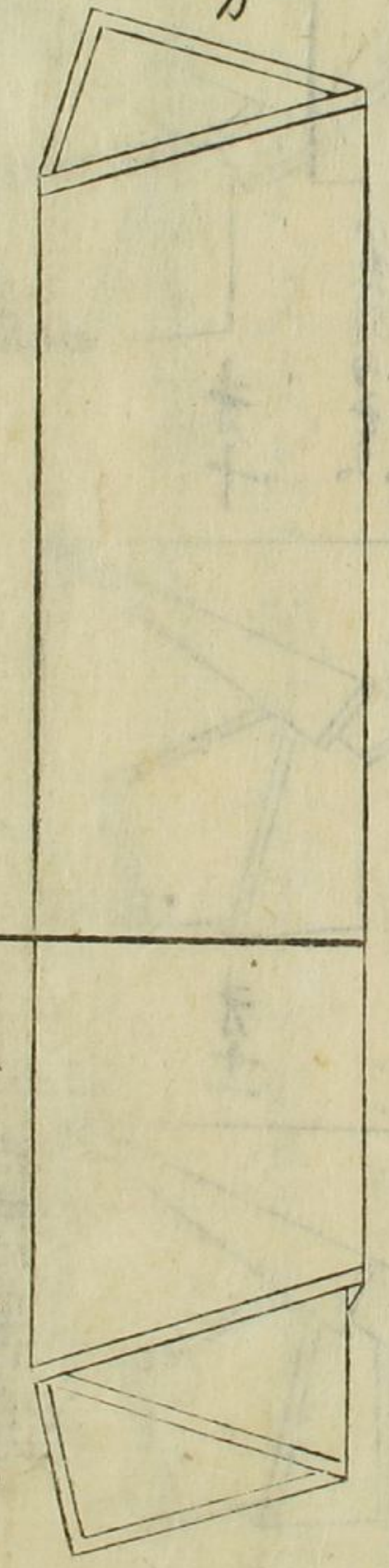
ちり
の方



太のさくおておさへなる

身五

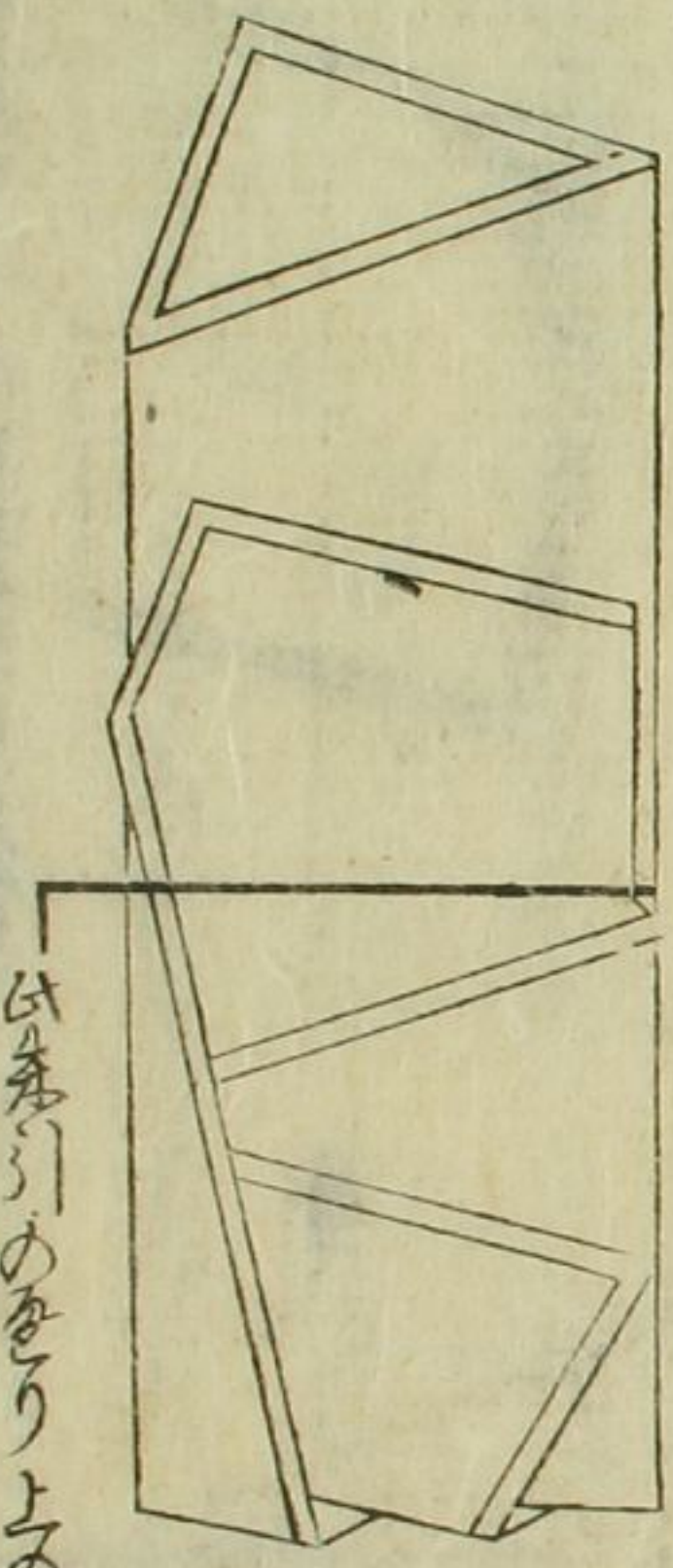
うの
方



は身引のさり上おさへ
丸の果はさくおなる

太は身引のさくお下線と折さへなる

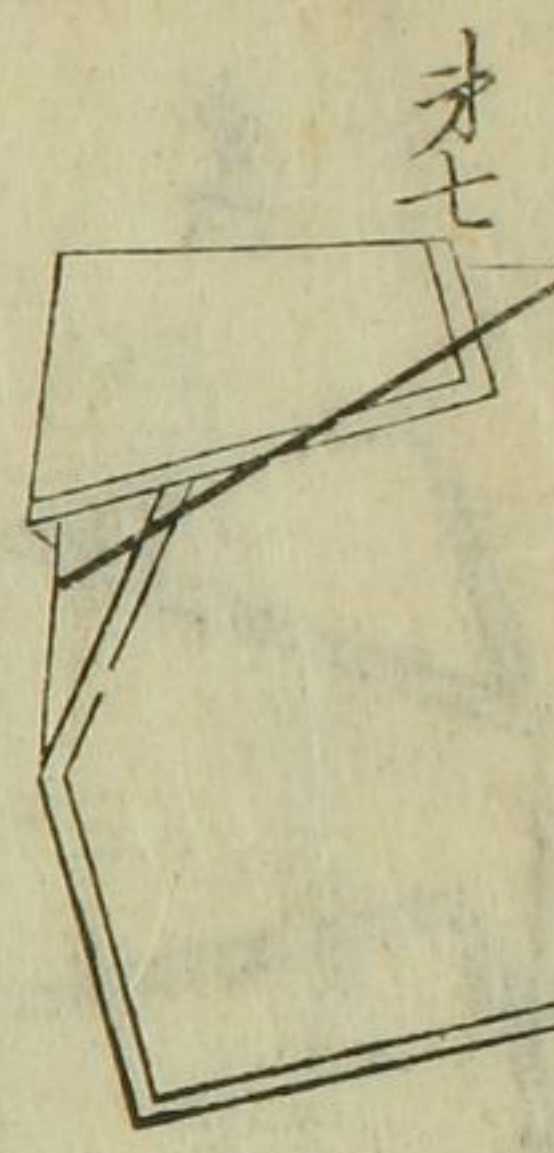
身六



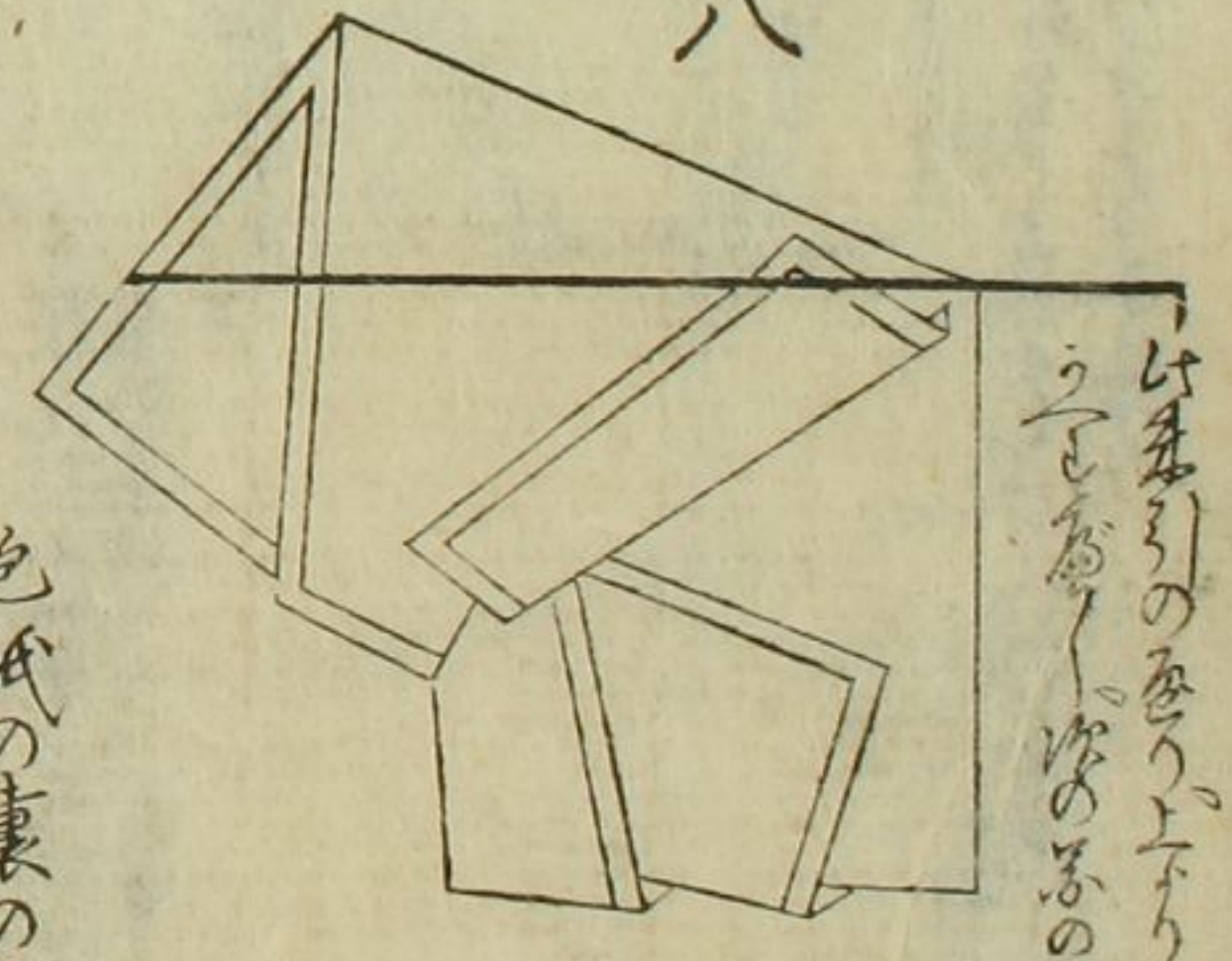
は身引のさり上の方と下折さへ
丸の果のさくおなる

は糸引のむら下の方とよどがひよ
折るす下れ糸のむらひよ

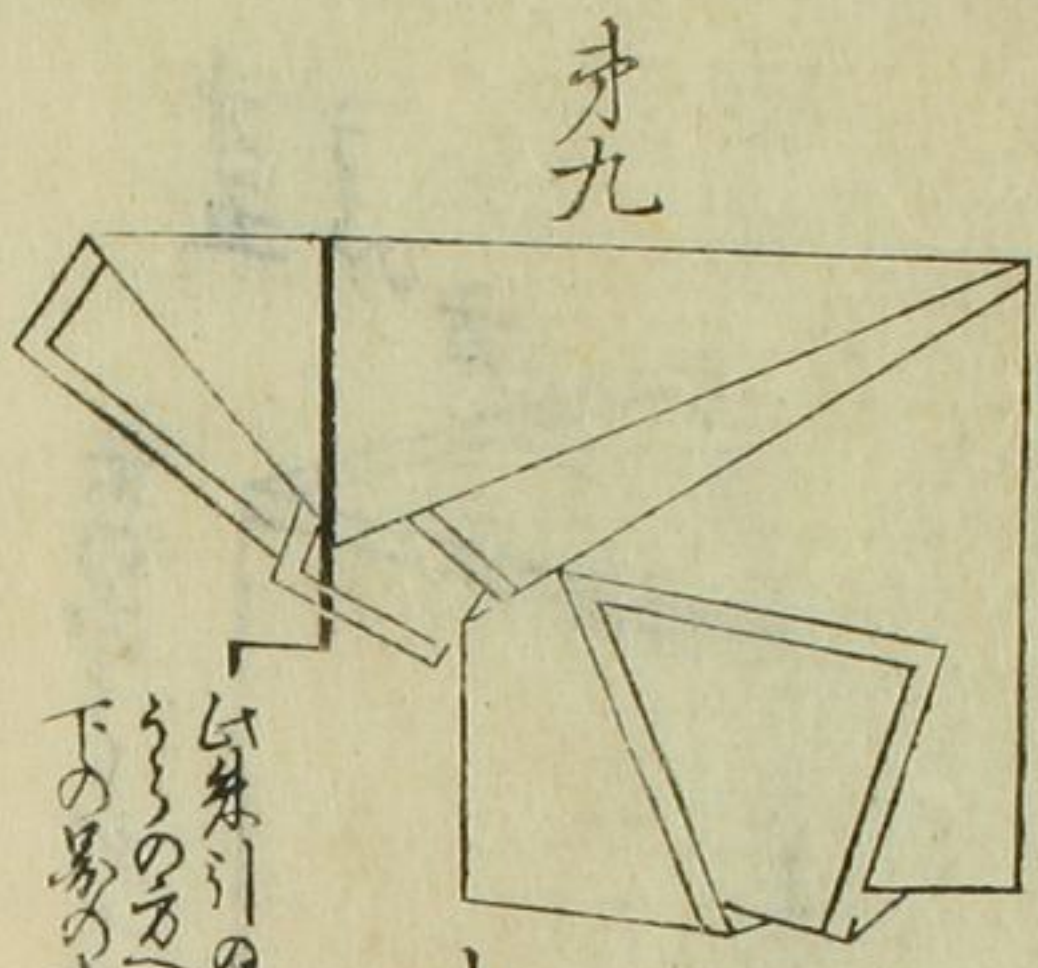
は糸引のむら上下り下折
うらむら下れ糸のむらひよ



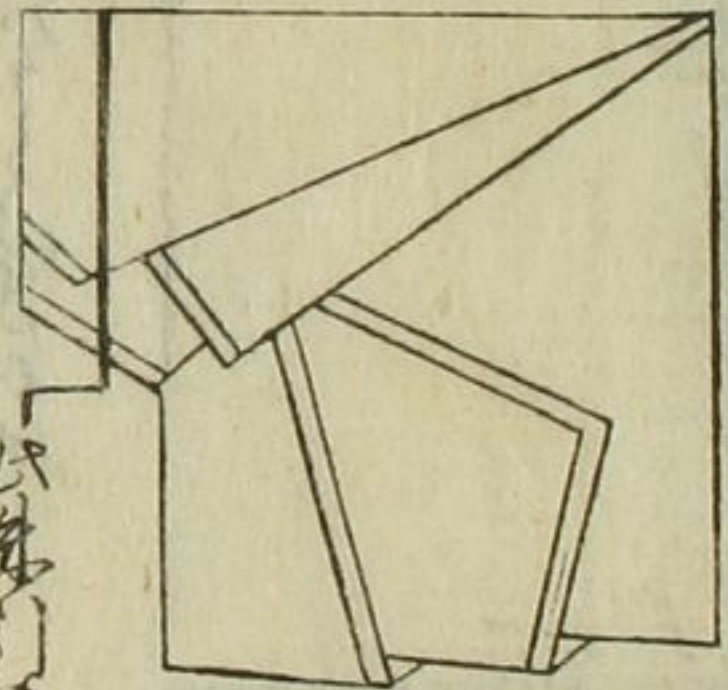
才八



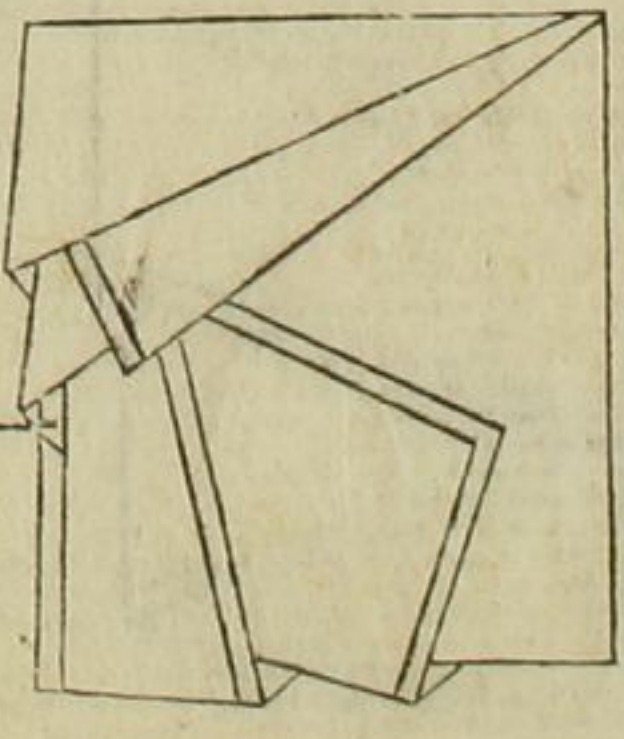
色紙の裏のむら



才十



才十一



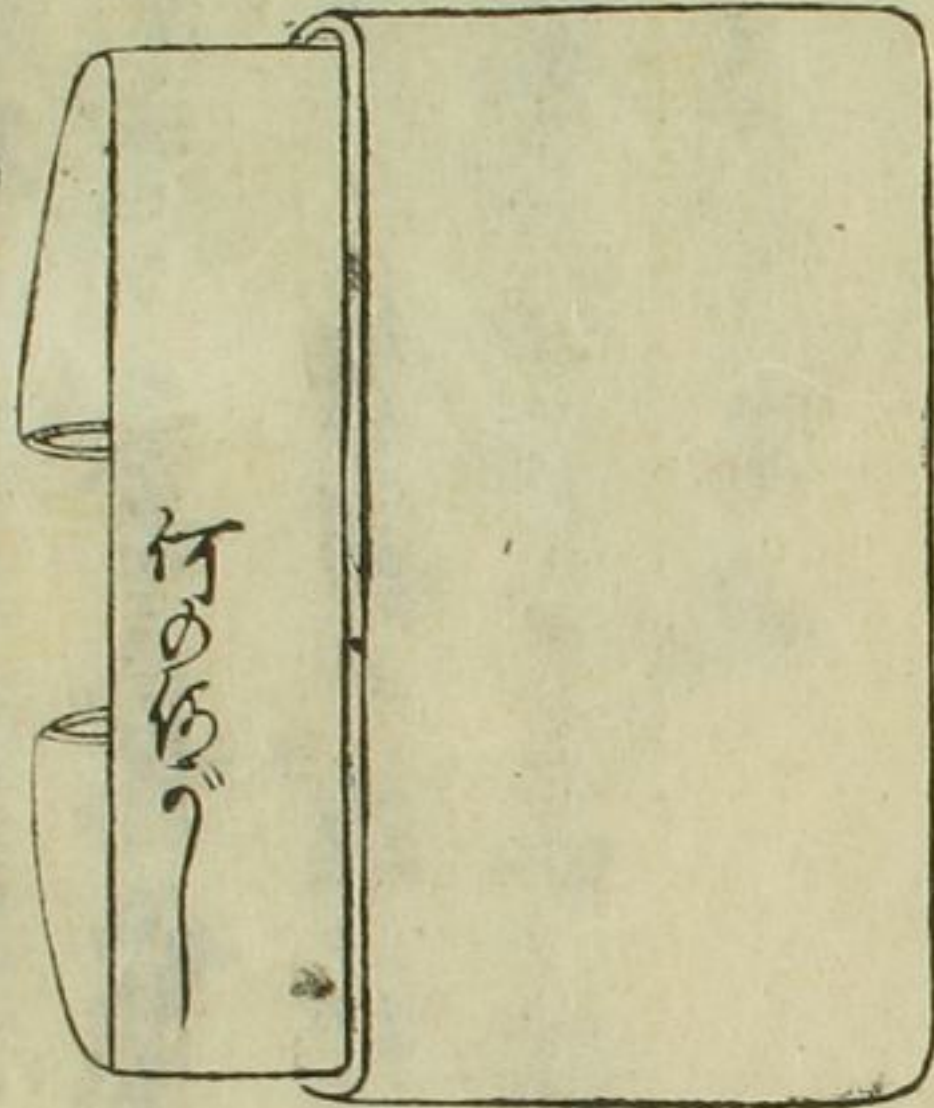
は糸引のむら
うらの方へ折る
下の糸のむら

は糸引のむら裏の方へ
折るす下れ糸のむら

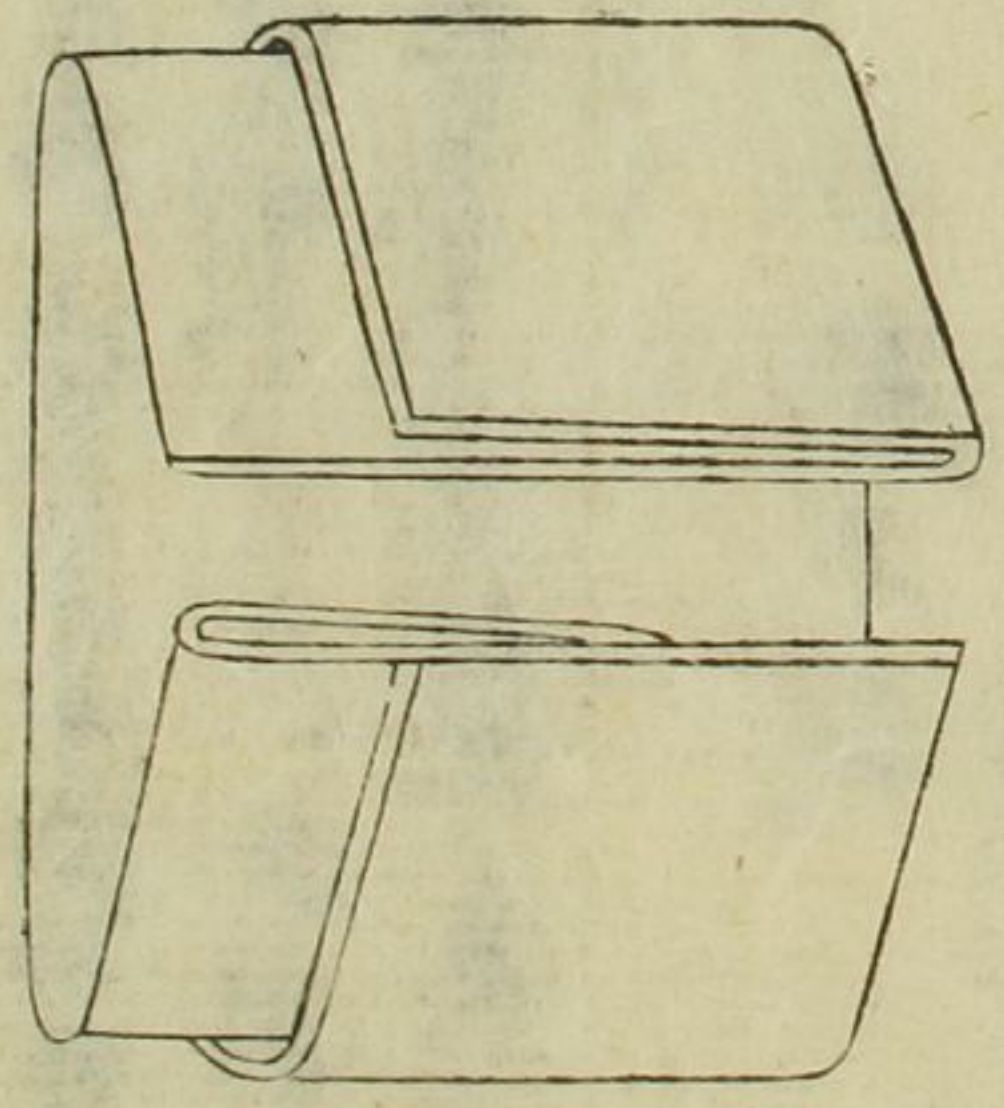
は糸引のむら
うらの方へ折る
下の糸のむら

一折糸緒の解つみきり上紙又上色せらるる。向引合ふて色
のやうふ色くふ大名の被官人。折り下色ちて上折み
むらり也色紙をのむら

表



裏



竹のむら一さきむら一と下紙折るすむらひよ

古くは糸引のむら下の方とよどがひよ折るす下れ糸のむらひよ

右書家上傳つる所の色紙折形也。此紙乃折形を
巻物極端に延びた形に三所の色紙を以て何處をとんず
は身より。右の折形も京師折字の所代用ひ
をせり。折形之形跡不用紙甲豆茶の折形に
通家小紙をよみしは、食肉を有する折形。危下合
家とふ知る所也。

伊勢平藏

寶曆十四甲申年二月十日

貞丈書

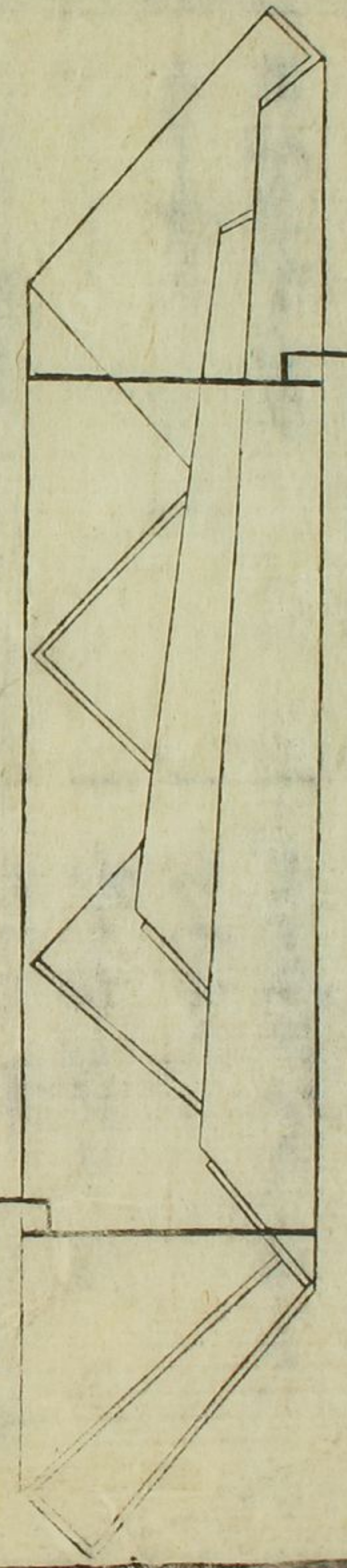
追加

- | | |
|---------|--------|
| 一 たまご | 一 とみ筆 |
| 一 ゆりーま | 一 かみ筆 |
| 一 かりー | 一 かり筆 |
| 一 さー | 一 ちやせん |
| 一 目ねきかう | 一 たまみけ |
| 一 目うごん | 一 矢の根 |
- 右に取らば、まつの色紙とて、はむは、是も紙とて、
ちがひして、色之伊勢後河守貞慎云、是は、ちがひ元
女房が、この中と、水引を、結中、と、色紙、たの

図のまゝ

此糸の布より裏へ折込

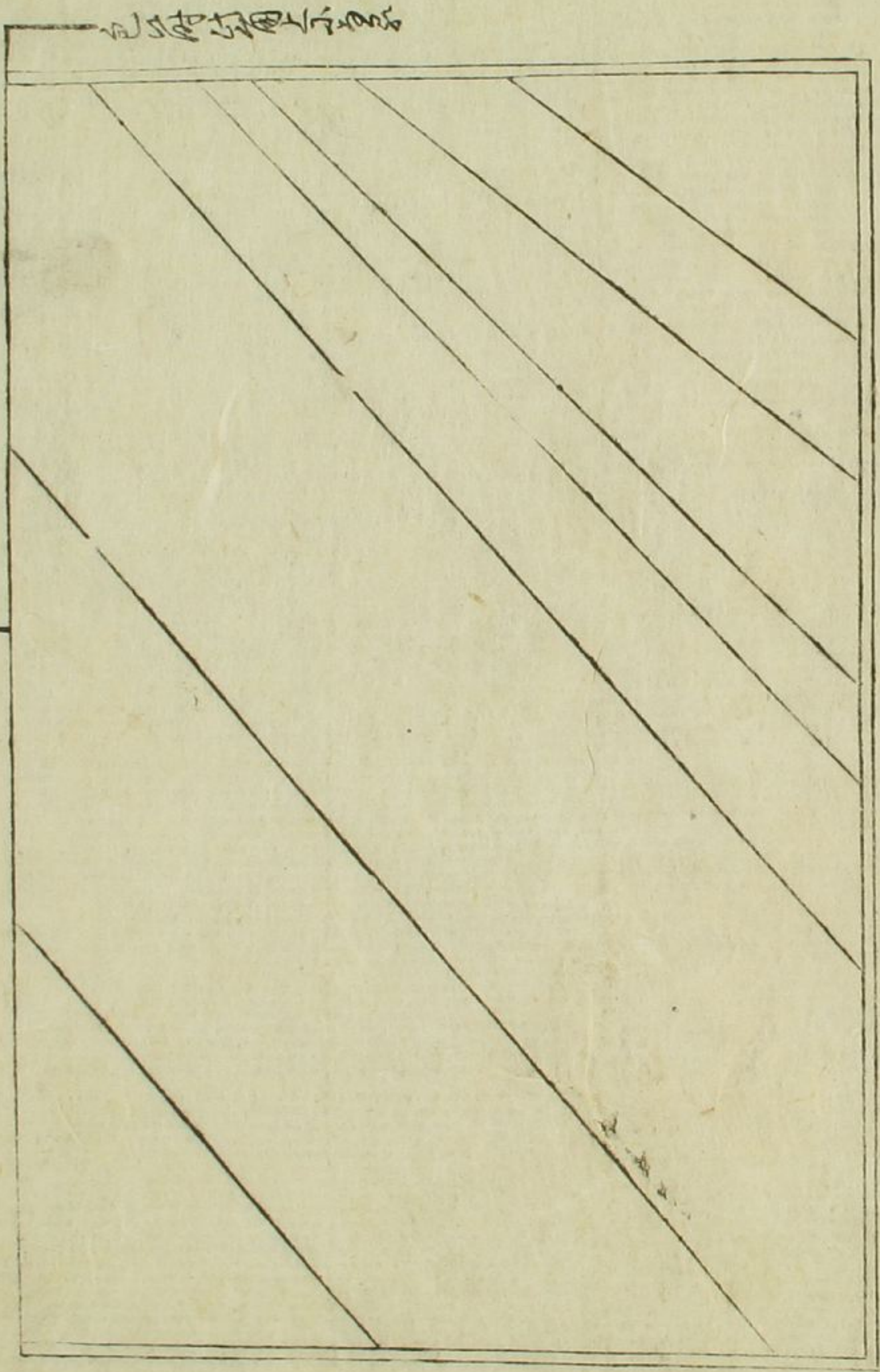
此糸の布より裏へ折込



此糸

右色紙の布より折込

折めの方

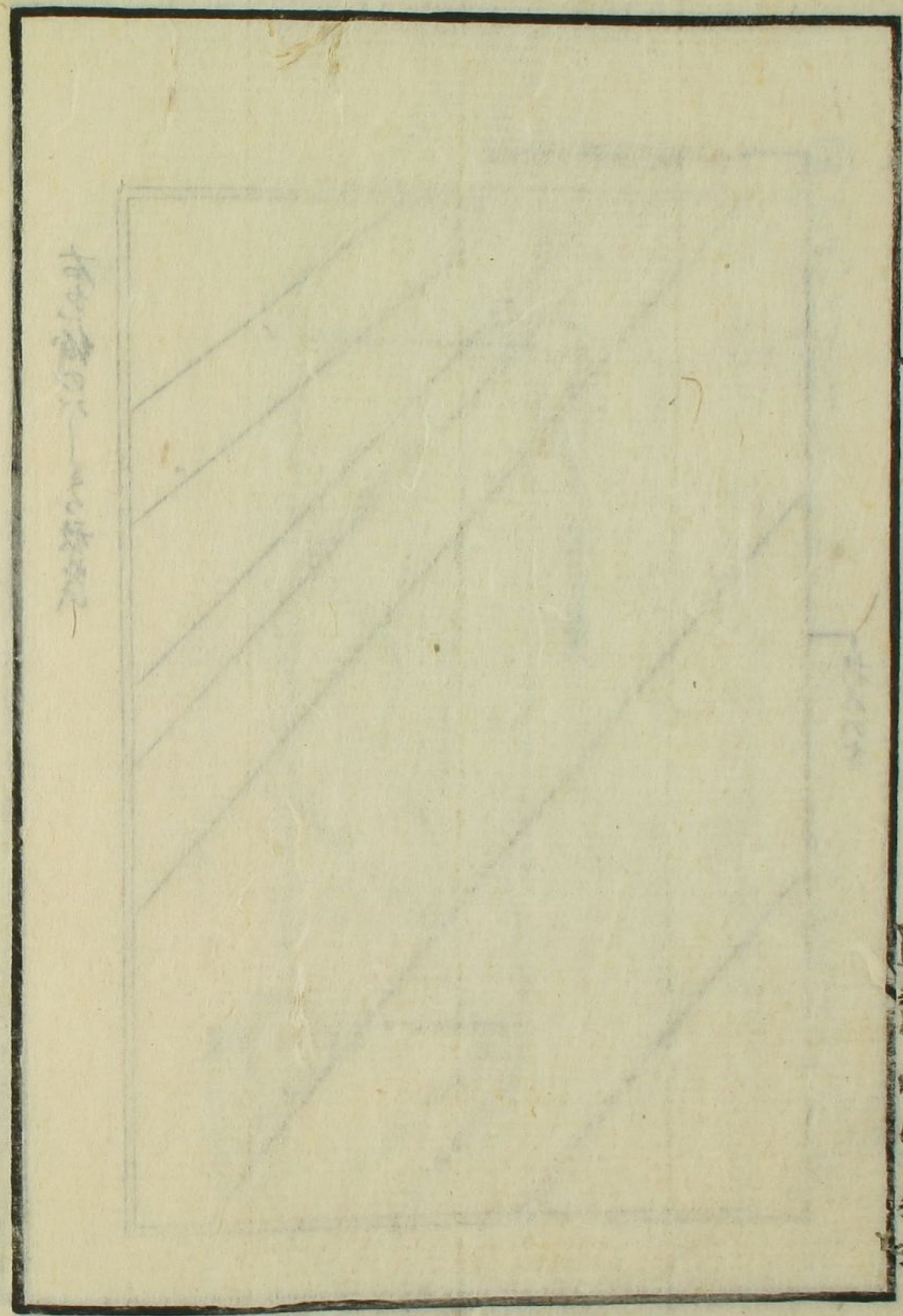


三糸譜

三糸譜

121744

175
x 11
T E
0



十の五の六—七の七の七

卷
終
言

三
痛
并

